

第23回日本集団災害医学会総会・学術集会 日程表

1日目 2月1日(木)
第1会場(1階 メインホール)

13:00~13:30

開会式

会長講演 「「災害時の医療」を客観視し多面的に捉える」

東京大学大学院医学系研究科救急科学 森村 尚登

座長 本間 正人(鳥取大学医学部器官制御外科学講座救急・災害医学分野)

13:30~14:30

市民公開講座1 「災害対応と作為, 不作為という考え方」

前九州看護福祉大学倫理・哲学教授 山本 務

司会 森村 尚登(東京大学大学院医学系研究科救急科学)

14:30~15:30

特別講演1 「IoT時代における災害対応」

INIAD(東洋大学情報連携学部)学部長 坂村 健

座長 野口 宏(藤田保健衛生大学救急科)

15:30~17:00

シンポジウム1 「Society 5.0におけるIoTを駆使した災害医療対応」

座長 小倉 真治(岐阜大学医学部附属病院)

中村 通子(朝日新聞社)

SY1-1 災害発生直後の医療チーム初動体制構築のための重症患者数推計システムの構築

国立保健医療科学院健康危機管理研究部/東京工業大学情報理工学院 市川 学

SY1-2 急性期災害医療へのドローンの活用

一救急・災害時ドローンプラットフォームネットワークの設立—

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 久城 正紀

SY1-3 社会基盤としてのAir Tagシステム:地理情報システムを災害医療へ

新潟大学医学部災害医療教育センター 高橋 昌

SY1-4 災害時の院内情報を, スマートフォンを用いて本部に集約し分析を可能にする

「本部機能支援システム」の開発と実装

大阪市立大学大学院医学研究科救急医学 山本 啓雅

SY1-5 災害時にクラウドサーバでの運用を見据え,

webアプリケーションとして構築した院内被害状況報告システム

大阪市立総合医療センター救命救急センター 福家 顕宏

SY1-6 東日本大震災での会津地域透析連携協力ネットワークとシンガポールの救急医療体制:

情報集約力と持続可能性

日本医科大学多摩永山病院/

Health Services and Systems Research, Duke-NUS Medical School, Singapore /

日本医科大学救急医学教室 田上 隆

1日目 2月1日(木)
第2会場(3階 303+304)

10:00~12:00

MCLS 大量殺傷型テロ対応セミナー(ダイジェスト版)

15:00~16:00

教育講演1 「防災における保健セクターの役割

—21世紀課題に対応するグローバルな枠組みづくりに向けて—

WHO健康開発総合研究センター 茅野 龍馬

座長 佐々木宏之(東北大学災害科学国際研究所)

16:00~17:00

特別講演2 「大都市と水害」

公益財団法人リバーフロント研究所 土屋 信行

座長 小井土雄一(国立病院機構災害医療センター)

17:00~18:00

特別講演3

「大地震のリスクを今一度整理する:国難となる南海トラフ巨大地震と首都直下地震」

東京大学地震研究所 平田 直

座長 大友 康裕(東京医科歯科大学救急災害医学分野)

1日目 2月1日(木)
第3会場(3階 311+312)

10:00~12:00

日本版 HMIMMS・J-HELP ジョイントコース(ダイジェスト版)

15:00~16:00

日本臨床救急医学会合同シンポジウム 「災害時のメディカルコントロール体制の課題と展望」

座長 安田 康晴(広島国際大学保健医療学部医療技術学科)

横田順一郎(堺市立病院機構)

- JSY1-1 熊本地震 被災地消防の指令センターの状況と救急活動
熊本市消防局東消防署 池田 光隆
- JSY1-2 熊本地震における特定行為に関するMCの役割
長崎県メディカルコントロール協議会/長崎大学病院地域医療支援センター 高山 隼人
- JSY1-3 広島土砂災害時のメディカルコントロール体制を振り返る
県立広島病院救命救急センター 山野上敬夫
- JSY1-4 メディカルコントロールとコマンド&コントロール
神戸市消防局 城月 徹

16:00~17:00

ワークショップ1 「地域包括ケアシステムと災害」

座長 有賀 徹(独立行政法人労働者健康安全機構, 学校法人昭和大学)

伊藤 重彦(北九州市立八幡病院救命救急センター)

- WS1-1 老人介護施設における災害時対応
—大阪市内の介護老人保健施設および介護老人福祉施設に対するアンケート調査より
大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 大西 光雄
- WS1-2 地域リハビリテーション支援体制とJRAT—レジリエンスな地域づくりを目指して
一般社団法人是真会長崎リハビリテーション病院 栗原 正紀
- WS1-3 地域包括ケアシステムにおける発災ゼロ時からの医療支援
—要配慮者支援のための情報収集・管理に関する北九州市の取り組み
北九州市立八幡病院災害医療研修センター 田口 健蔵
- WS1-4 地域包括ケアシステムと災害—東京都医師会の活動—
東京都医師会 猪口 正孝

17:00~18:00

日本腎臓学会合同シンポジウム 「災害時の透析ニーズに多面的に対応するために」

座長 田中 裕(順天堂大学)

南学 正臣(東京大学腎臓内科)

- JSY2-1 クラッシュ症候群と透析医療の災害医療リスクリソース比の検討
災害医療リスクリソース研究会/横浜南共済病院救急科 高橋 耕平
- JSY2-2 挫滅症候群における急性腎障害の病態と治療
東京大学医学部救急科学 土井 研人
- JSY2-3 3.11 東日本大震災における宮城県内透析医療の維持と復旧
JCHO 仙台病院腎センター 佐藤 壽伸
- JSY2-4 JHATによる災害時透析医療支援
日本災害時透析医療協働支援チーム, 神奈川工科大学工学部臨床工学科 山家 敏彦

1日目 2月1日(木)
第4会場(3階 313+314)

10:00~12:00

日本版 HMIMMS・J-HELP ジョイントコース(ダイジェスト版)

15:00~16:00

パネルディスカッション1 「多職種連携をいかにして行うか」

座長 阿南 英明(藤沢市民病院救命救急センター)

山畑 佳篤(京都府立医科大学)

PD1-1 災害時における消防機関との連携

総務省消防庁救急企画室 森川 博司

PD1-2 多職種連携をいかに行うかー滋賀県湖北地域の取り組み事例ー

長浜赤十字病院 金澤 豊

PD1-3 災害医療における多職種連携への薬剤師の関わり

日本医科大学千葉北総病院薬剤部 渡邊 暁洋

PD1-4 南知多地域における医療と福祉支援ネットワーク体制の構築

藤田保健衛生大学災害・外傷外科 平川 昭彦

16:00~17:00

パネルディスカッション2 「医療者の指定参集について考える」

座長 石井 正三(医療法人・社会福祉法人正風会, 一般社団法人医療戦略研究所)

稲田 眞治(名古屋第二赤十字病院)

PD2-1 地震発生直後の状況

慶應義塾大学環境情報学部 大木 聖子

PD2-2 都立病院における大規模災害発生後の職員参集ルール改定は、
発災後の職員不足を補えるか?

東京都立多摩総合医療センター救命救急センター 森川健太郎

PD2-3 災害拠点病院職員の参集義務と関連する対策

市立八幡浜総合病院麻酔科・救急部 越智 元郎

PD2-4 医療者の指定参集について考える

九州大学病院救命救急センター 赤星朋比古

17:00~18:00

パネルディスカッション3 「都道府県と政令指定都市の協働に向けて」

座長 松田 潔(日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター)

川内 敦文(高知県健康政策部医療政策課)

PD3-1 熊本市における、熊本県との災害時保健医療体制連携にむけた取り組みと課題

熊本市東区役所保健子ども課 瀬上 史

PD3-2 広域大規模災害における政令指定都市への災害救助権限委譲の課題

川崎市立看護短期大学 坂元 昇

PD3-3 政令指定都市と県との新たな役割分担, 事前の権限移譲は可能か?
ー災害時の有効な役割分担のためにー

横浜市立大学救急医学教室 竹内 一郎

PD3-4 大阪における保健医療活動の現状と課題

大阪急性期・総合医療センター 松田 宏樹

1日目 2月1日(木)
第5会場(5階 511+512)

15:00~15:30

緊急企画

「ASEAN-Japan collaboration for future vision of ASEAN Disaster Medical System」

座長 甲斐 達朗(千里病院千里救命救急センター／ARCH Project国内支援委員会)

Introduction

ARCH Project 中島 康

ASEAN Member States (AMS) disaster health management drill, ARCH Project

Prince of Songkla University, Thailand/ARCH Project Prasit Wuthisuthimethawee

ASEAN Disaster Medical System; How does vision become reality?

Ministry of Public Health, Thailand/ARCH Project Phumin Silapunt

Conclusion, Suggestion from Japanese Advisory Committee, ARCH Project

千里病院千里救命救急センター／ARCH Project国内支援委員会 甲斐 達朗

15:30~17:00

防災学術連携体 特別企画 「災害時に知るべきリスク, 伝えるべきリスク」

座長 米田 雅子(慶應義塾大学)

近藤 久禎(国立病院機構災害医療センター)

特別企画1 レジリエンスを駆動するインフラのありかた

土木学会／東京大学大学院新領域創成科学研究科 本田 利器

特別企画2 建物の倒壊のリスク

日本建築学会／京都大学生存圏研究所 五十田 博

特別企画3 大規模地震時の同時多発火災という災害シナリオと集団災害医療対応

日本火災学会／東京理科大学大学院国際火災科学研究科 関澤 愛

特別企画4 災害医療から伝えたいリスクと医療者が知るべきリスク

日本集団災害医学会／北里大学病院救命救急・災害医療センター 浅利 靖

17:00~18:00

ワークショップ2 「リスク評価に基づく災害医療計画」

座長 和藤 幸弘(金沢医科大学)

七戸 康夫(国立病院機構北海道医療センター救命救急センター救急科)

WS2-1 災害医学とネットワーク理論

日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野 櫻井 淳

WS2-2 大規模地震における人的被害の指標としての Shannon entropy

国際医療福祉大学熱海病院 安心院康彦

WS2-3 弾道ミサイル発射に関わる

全国瞬時警報システム(J-ALERT)発動時の病院対応の策定について

京都府立医科大学大学院医学研究科救急・災害医療システム学 山畑 佳篤

WS2-4 傷病者推移モデルに基づいた現場および

医療機関の傷病者数の算出による地域のリスク評価

横浜市立大学医学研究科救急医学 内山 宗人

1日目 2月1日(木)
第6会場(2階 211+212)

10:00~12:00

一般社団法人Healthcare BCPコンソーシアム(災害時福祉・医療機能存続事業連合体)
設立記念連続公開シンポジウム

15:00~16:00

一般演題 口演1 「多機関・多職種連携1」

座長 中野 実(前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療室・救急部)
石原 哲(医療法人伯鳳会東京曳舟病院)

- 01-1 災害時に求められる地域包括ケアシステムとは
日本赤十字社医療センター救命救急センター 林 宗博
- 01-2 地域包括ケアシステムにおける災害対応の準備状況の把握: 地域包括支援センター調査
宮崎大学医学部看護学科地域精神看護学講座 原田奈穂子
- 01-3 ADRO(阿蘇地区災害保健医療復興連絡会議)を事例とした栄養サポートにおけるJDA-DAT
の初期活動について
兵庫県栄養士会 濱田 真里
- 01-4 熊本地震へのDHEAT的派遣 派遣者調査
岡山大学大学院医療教育統合開発センター 中瀬 克己
- 01-5 熊本地震における兵庫県栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT兵庫)の
活動と多職種連携について
兵庫県栄養士会/日本栄養士会 JDA-DAT 小堀 睦美
- 01-6 DPAT/AMATと連携して行った訓練
関西医科大学総合医療センター救急医学講座 岩村 拡
- 01-7 大規模災害時における放射線部門動作マニュアル作成の取り組み
大垣市民病院医療技術部診療検査科 松岡 洋慶
- 01-8 災害歯科保健医療連絡協議会の目的と方向性
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野/
(公社)日本歯科医師会災害歯科保健医療連絡協議会WG/
日本災害時公衆衛生歯科研究会 中久木康一

16:00~17:00

一般演題 口演2 「避難所など」

座長 石井 正(東北大学病院総合地域医療教育支援部)

- 02-1 災害時避難所対策に関する優先度意識調査
東北大学大学院医学系研究科医学情報学 中山 雅晴
- 02-2 大規模地震時医療活動訓練における保健医療活動を主軸とした避難所運営訓練報告
—訓練参加の地域住民へのアンケート結果から—
地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター 下池田百合
- 02-3 避難所での急性期DVT保健衛生活動<熊本地震血栓塞栓症予防プロジェクト(KEEP)>
—災害医療コーディネーターの立場から伝えたいこと—
熊本赤十字病院国際医療救援部整形外科 細川 浩
- 02-4 避難所における静脈血栓塞栓症の予防活動: 日本静脈学会の取り組み
弘前大学大学院医学研究科胸部心臓血管外科/日本静脈学会災害対策委員会 福田 幾夫

- O2-5 熊本地震急性期、亜急性期において 避難所は妊婦の主要な避難場所ではなかった
恵寿総合病院産婦人科／NPO法人周生期医療支援機構（ALSO-Japan） 新井 隆成
- O2-6 災害弁当の作成の取り組み 日本栄養士会災害支援チームJDA-DATの後方支援
ヘルシープラネット 今川 弥生
- O2-7 熊本地震における入浴支援の現状と課題
千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 立石 順久
- O2-8 消防職員の感染対策について
神戸学院大学現代社会学部社会防災学科／
国際緊急援助隊医療チームロジスティクス課題検討委員会 中田 敬司

17:00～18:00

ワークショップ3 「避難者支援の課題と展望」

- 座長 森野 一真（山形県立中央病院救命救急センター）
山崎 達枝（東京医科大学看護学科）
- WS3-1 被災地研究から探る新たな支援方法
福井大学医学部地域医療推進講座 山村 修
- WS3-2 第二の災害としての避難所生活
石巻赤十字病院呼吸器外科 植田 信策
- WS3-3 避難者視点に立った避難所の実現のために考えること
東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 佐々木吉子
- WS3-4 DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）の制度化・実働へ向けて
熊本県八代保健所 木脇 弘二

1日目 2月1日(木)
ポスター会場(3階 315)

17:00~17:30

ポスター1 「地域包括ケア」

座長 三浦 邦久(順江会江東病院麻酔科)

山田 英子(東京医療保健大学東が丘・立川看護学部看護学科)

- P1-01-1 地域包括ケアシステムにおける災害支援
医療法人社団坂梨会阿蘇温泉病院 林 寿恵
- P1-01-2 大規模災害時に在宅医療を継続するためのマッピング
社会医療法人関愛会佐賀関診療所 中村 朋子
- P1-01-3 訪問看護ステーションにおけるDIGの実施と今後の課題
ケアプロ株式会社ケアプロ訪問看護ステーション東京 香川 真実
- P1-01-4 災害弱者を地域で包括的に支えるために
山梨市立牧丘病院 古屋 聡
- P1-01-5 災害時の互助活動に焦点を当てた近所付き合いとリスク対処意識との関連
健康科学大学看護学部看護学科 望月宗一郎

17:30~17:54

ポスター2 「復興への取り組み」

座長 谷口 巧(金沢大学医薬保健研究域麻酔・集中治療医学)

三谷 智子(岐阜医療科学大学保健科学部看護学科)

- P1-02-1 東日本大震災における被災高齢者が恒久的な住宅への移転を決定するプロセス
福井県立病院看護部7北病棟 花房八智代
- P1-02-2 災害時の医薬品供給体制への提言—平成28年熊本地震の経験から—
(株)ハートフェルト/白川水源薬局 稲葉 一郎
- P1-02-3 被災地復興支援に関する検討
災害医療センター DMAT事務局 小塚 浩
- P1-02-4 子どもと高齢者がふれあい、笑顔で地域を元気にする
「ほっこり・ふれあい食事プロジェクト」
(公社)福島県栄養士会 三森美智子

17:00~17:30

ポスター3 「指揮・調整・安全・評価1」

座長 西山 隆(神戸大学大学院医学系研究科救命救急科/災害・救急医学講座)

高田 洋介(人と防災未来センター研究部)

- P1-03-1 新しい原子力災害医療体制は複合災害に対応できるか
広島大学原爆放射線医科学研究所放射線災害医療研究センター
放射線医療開発研究分野/広島大学緊急被ばく医療推進センター 廣橋 伸之
- P1-03-2 除染作業員における放射線健康不安に関連した要因の解析
福島県立医科大学国際被ばく公衆衛生看護学講座 高橋真菜美
- P1-03-3 「放射線災害時の健康不安や関心事は集団の社会背景により異なる」:
ティラーメイドなコミュニケーションを目指して
福島県立医科大学医学部放射線災害医療学講座 長谷川有史
- P1-03-4 地震にみまわれた医療機関における建築物被災調査について
独立行政法人国立病院機構災害医療センター 武藤 和幸

P1-03-5 被災地での産業保健活動

国立病院機構災害医療センター災害医療部福島復興支援室 小早川義貴

17:30~18:00

ポスター4 「指揮・調整・安全・評価2」

座長 小林 誠人（公立豊岡病院但馬救命救急センター）

P1-04-1 国訓練における一般病院（自衛隊阪神病院）の活用及びDMATの派遣について

宝塚市立病院 木村 俊大

P1-04-2 多数傷病者受け入れシステムの構築

武蔵野赤十字病院救急外来 稲葉 香

P1-04-3 地震発生1時間の災害対策本部初動訓練の実態と今後の課題

徳島市民病院 谷崎 宏美

P1-04-4 当地域における保健所医療地方部と協働した災害対策本部運営について

松阪市民病院救急科 谷口健太郎

P1-04-5 搬送ニーズは「ドクターヘリ調整部」と「ドクターヘリ本部」のどちらで受けるべきか？

和歌山県立医科大学附属病院高度救命救急センター 那須 亨

17:00~17:30

ポスター5 「多機関・多職種連携1」

座長 山田 裕彦（岩手医科大学救急・災害・総合医学講座救急医学分野）

榎本 暁（東京消防庁目黒消防署）

P1-05-1 医療連携体制構築のための災害拠点病院の役割

医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院施設係災害対策委員会 西本 幸司

P1-05-2 災害医療訓練をDMATとVMAT（災害派遣獣医療チーム）が合同して行うことの意味

伊勢崎市民病院DMAT 片山 和久

P1-05-3 ハブ機能を担う災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）と
多組織間の協働のための基礎的検討

山梨県中北保健所 古屋 好美

P1-05-4 関西国際空港航空機海上事故対策訓練を通じた多機関連携の強化

りんくう総合医療センター・大阪府泉州救命救急センター 成田麻衣子

P1-05-5 『2020オリンピック・パラリンピック／ラグビーワールドカップ2019 テロ対策「彩の国」
ネットワークでの警察・消防合同訓練を実施して』

上尾市消防本部 本田 茂人

17:30~18:06

ポスター6 「多機関・多職種連携2」

座長 庄古 知久（東京女子医科大学東医療センター救命救急センター）

P1-06-1 大阪府大規模地震時医療救護活動訓練におけるAMATとDPATの協働

直和会平成立石病院地域救急医療センター救急科／

全日本病院協会救急・防災委員会 大桃 丈知

P1-06-2 群馬DMATチームとの合同野営訓練を実施して

渋川広域消防本部 梅澤 厚志

P1-06-3 「平成29年7月九州北部豪雨」における鍼灸マッサージ師会合同チームの活動
—初動から亜急性期まで—

公益社団法人日本鍼灸師会危機管理委員会／

公益社団法人福岡県鍼灸マッサージ師会 矢津田善仁

- P1-06-4 熊本地震における当院の対応—職員アンケートを踏まえて—
荒尾市民病院救急科 松園 幸雅
- P1-06-5 平成28熊本地震で初めての支援活動を経験して
医療法人芳越会ハウエツ病院 鎌田 洋子
- P1-06-6 常備消防非設置自治体における救助活動—消防団員による初期救助の取り組み—
日本救急システム株式会社 後藤 奏

17:00~17:24

ポスター7 「多機関・多職種連携3」

- 座長 児玉 貴光（愛知医科大学災害医療研究センター）
川谷 陽子（愛知医科大学附属病院高度救命救急センター）
- P1-07-1 兵庫県における災害時の診療放射線技師の人的支援訓練について
神戸赤十字病院放射線科部 中田 正明
- P1-07-2 SCUにおけるX線撮影システムを用いた兵庫県放射線技師会との連携訓練について
兵庫県災害医療センター 上江 孝典
- P1-07-3 災害時緊急医療救護所における薬剤師の役割と地域連携
武蔵野赤十字病院薬剤部 細谷龍一郎
- P1-07-4 今後起こり得る有事の薬剤師の支援活動の在り方等について考える
—支援薬剤師を対象としたアンケート調査結果から—
株式会社ハートフェルト 稲葉 一郎

17:24~17:48

ポスター8 「多機関・多職種連携4」

- 座長 黒田 泰弘（香川大学医学部救急災害医学）
中田 正明（神戸赤十字病院放射線科）
- P1-08-1 多職種連携のためのツール：スフィアスタンダード2018
宮崎大学看護学科地域精神看護学講座/JQAN 原田奈穂子
- P1-08-2 初めての多数傷病者受け入れにおける他職種連携を経験して
社会福祉法人京都桂病院 吉田賀奈子
- P1-08-3 多職種合同の院内災害訓練 手術室平日13時発災を想定して
名古屋第二赤十字病院 橋本 侑季
- P1-08-4 災害時の「食」に対する多職種連携について
大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室 富岡 正雄

17:00~17:30

ポスター9 「傷病管理1」

- 座長 中森 知毅（横浜労災病院救命救急センター救急災害医療部）
京極多歌子（大阪府済生会千里病院千里救命救急センター）
- P1-09-1 鳥取県中部地震における当院の透析患者への対応と課題
鳥取県立厚生病院 浜崎 尚文
- P1-09-2 災害時における体制構築への取り組み—緊急時対応の経験からみえた課題—
川崎市立多摩病院 本鍋田由美子
- P1-09-3 避難所における被災者の血圧管理について災害支援ナースに必要なと思われる活動
—平成29年7月九州北部豪雨災害における活動を振り返って—
大分県立看護科学大学看護学部看護学科 石田佳代子
- P1-09-4 大雪時における外来血液透析者の通院状況の実態
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科北海道科学大学保健医療学部看護学科 二本柳玲子

P1-09-5 災害医療でのオマリグリプチン

滋賀医科大学医学部社会医学講座法医学部門 古川 智之

17:30~18:00

ポスター10 「傷病管理2」

座長 日野 耕介（横浜市立大学市民総合医療センター精神医療センター）

P1-10-1 平成28年熊本地震のJRAT活動に対する検証

大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室 富岡 正雄

P1-10-2 離島・過疎地域における児童・思春期精神保健と災害：

平成25年台風26号による東京都大島町での暴風雨・土石流被害における取組

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・思春期精神保健研究部 高橋 秀俊

P1-10-3 熊本地震における支援者に対する日赤のこころのケア活動の効果と課題

日本赤十字社医療事業推進本部看護部 松野 千郷

P1-10-4 歯科身元確認研修におけるメンタルケアのためのストレス測定の検討

神奈川歯科大学大学院横須賀・湘南地域災害医療歯科学研究センター／

神奈川歯科大学大学院歯学研究科災害医療歯科学講座法医歯科学分野 山本伊佐夫

P1-10-5 日本における災害時のがん患者の実態に関する文献レビュー

横浜市立大学医学部看護学科 今津 陽子

17:00~17:30

ポスター11 「災害精神保健医療」

座長 吉永 和正（協和マリナホスピタル）

村上 典子（神戸赤十字病院心療内科）

P1-11-1 卒前教育における「災害時の精神・心理ストレス」の導入：熊本地震の経験をふまえて

熊本大学医学部附属病院地域医療・総合診療実践学寄附講座 香田 将英

P1-11-2 遺体関連業務における公務員の惨事ストレス対策と遺族支援

—日本初のDMORT研修会導入—

横浜市青葉福祉保健センター 勝島聡一郎

P1-11-3 当院における遺体修復（整体）訓練の工夫

長浜赤十字病院医療社会事業部 中村 誠昌

P1-11-4 ICPO式DVIを用いた机上訓練の試み—多職種連携の意義を考究する—

鶴見大学歯学部法医歯学教室 勝村 聖子

P1-11-5 多数死傷者対応ガイドライン作成に向けた日本DMORTと警察との連携

名古屋掖済会病院救命救急センター 伊藤 美和

17:30~18:00

ポスター12 「避難所など1」

座長 丸山 嘉一（日本赤十字社医療センター国内・国際医療救援部）

P1-12-1 九州北部豪雨調査活動から学ぶ国内災害支援時の教訓について

済生会千里病院千里救命救急センター／災害人道医療支援会 山下 公子

P1-12-2 平成28年熊本地震における被災市町村の保健医療の課題と支援ニーズ

—避難所を中心とした支援者報告書の検討—

日本赤十字看護大学 内木 美恵

P1-12-3 北海道における福祉避難所への調査

～現状と北海道災害リハビリテーション推進協議会（DoRAT）の啓蒙

氏家記念こどもクリニック 古郡 恵

- P1-12-4 山間地域の住民が求める自然災害発生時の対応体制のニーズ
健康科学大学看護学部看護学科 黒田 梨絵
- P1-12-5 山間部住民における災害への備えと楽観悲観性との関連
健康科学大学看護学部看護学科 山崎さやか

17:00~17:36

ポスター13 「避難所など2」

- 座長 高橋 栄治（沼田脳神経外科循環器科病院救急科）
阿久津 功（医療法人辰星会耕記念病院）
- P1-13-1 熊本地震へのDHEAT的派遣 派遣元自治体調査
岡山大学大学院医療教育統合開発センター 中瀬 克己
- P1-13-2 大規模災害の備えのための医療従事者用口腔保健管理マニュアル作成（妊産婦編）
神奈川歯科大学大学院歯学研究科横須賀・湘南地域災害医療歯科学研究センター／
神奈川歯科大学大学院歯学研究科口腔科学講座口腔衛生学分野 木本 一成
- P1-13-3 避難所運営訓練後に行った支援団体へのアンケート結果から見えた課題
大阪急性期・総合医療センター 塩屋 博史
- P1-13-4 避難所の情報共有について考える
公立松任石川中央病院 安間 圭一
- P1-13-5 段ボールベッドを導入できなかった避難所の事例報告とその対策。
Jパックス株式会社 水谷 嘉浩
- P1-13-6 冬期避難所検証から得られたトイレ・低体温症対策の問題
日本赤十字北海道看護大学災害対策教育センター 根本 昌宏

17:36~18:06

ポスター14 「教育・訓練1」

- 座長 鈴木 貴博（川崎市立井田病院救急センター）
山田 太平（岡山大学病院救急科）
- P1-14-1 BHELP 標準コース開催報告と今後の課題
鳥取大学医学部附属病院 恩部 陽弥
- P1-14-2 BHELP 試行コース受講者アンケートからの一考察
山形県立中央病院救命救急センター 峯田 雅寛
- P1-14-3 一次避難所運営机上演習の展開と結果
福島県立医科大学医療人育成・支援センター 安井 清孝
- P1-14-4 大規模災害時の福祉避難所を想定したシミュレーションゲームの開発と実施
国際医療福祉大学成田保健医療学部理学療法学科 町田 和
- P1-14-5 メディカルラリーを通して亜急性期災害対応を学ぶ
大阪府済生会千里病院千里救命救急センター 尾北 賢治

17:00~17:36

ポスター15 「教育・訓練2」

- 座長 伊藤 靖（北海道立江差病院）
関根 和弘（京都橘大学健康科学部救急救命学科）
- P1-15-1 「平成29年度大規模地震時医療活動訓練」における
自衛隊病院内でのDMATとの協同訓練に参加して
自衛隊阪神病院 花浦真由子
- P1-15-2 豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修を開催して
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院 植松 愛

- P1-15-3 他機関と連携しておこなった病院災害訓練
昭和大学藤が丘病院救急医学科 佐々木 純
- P1-15-4 局地災害における東京DMAT隊の活動に対する提案
東京女子医科大学東医療センター救命救急センター 安達 朋宏
- P1-15-5 地域の外部機関との連携のための訓練手法の開発
株式会社エイト日本技術開発災害リスク研究センター 三上 卓
- P1-15-6 当院における地域自治体・医師会と連携した災害対応訓練
横浜市立市民病院災害危機管理委員会 干川 芳弘

17:36~18:06

ポスター16 「教育・訓練3」

- 座長 岡本 健（順天堂大学医学部附属浦安病院救急診療科）
土井 智喜（横須賀共済病院救急科）
- P1-16-1 地域医師会の緊急医療救護所運営に対する災害拠点病院の関わり方
慶應義塾大学医学部救急医学 清水千華子
- P1-16-2 千葉県DMAT看護師会とロジスティック会が院内災害訓練に参加することの効果
社会福祉法人太陽会安房地域医療センター 長谷川 努
- P1-16-3 平成28年度全日本病院協会防災訓練
医療法人芳越会ホウエツ病院 吉川 友弘
- P1-16-4 近隣医療機関に対する災害教育の取り組み
手稲溪仁会病院臨床工学部 菅原 誠一
- P1-16-5 広島県集団災害医療救護訓練における病院職員への研修について
災害医療センター 田治 明宏

17:00~17:30

ポスター17 「教育・訓練4」

- 座長 中田 康城（堺市立総合医療センター救命救急センター）
北川原 亨（日本赤十字社長野県支部組織振興課）
- P1-17-1 大規模災害訓練における大阪府での小児周産期リエゾン活動
大阪市立総合医療センター救命救急センター 古家 信介
- P1-17-2 災害拠点連携病院としての災害時薬剤師活動検討
医療法人社団東光会西東京中央総合病院薬剤科 小島 香織
- P1-17-3 日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）あの日を忘れない，教訓を繋ぐ
一絆プロジェクト
公益社団法人日本栄養士会 下浦 佳之
- P1-17-4 災害医療ACT研究所による災害医療コーディネート研修会の取り組み
東北大学病院総合地域医療教育支援部 石井 正
- P1-17-5 災害救護活動でのボランティア活用とその教育訓練
日本赤十字社岡山県支部岡山県赤十字救護奉仕団 沖野 浩一

17:30~18:00

ポスター18 「教育・訓練5」

- 座長 花木 芳洋（名古屋第一赤十字病院救急部）
染谷 泰子（JAとりで総合医療センター救急外来）
- P1-18-1 当院における災害拠点病院としての活動—災害研修における人材育成を行って—
社会医療法人敬愛会中頭病院 仲宗根 智

- P1-18-2 災害発生シミュレーションの学びから、
業務改善を行った救命救急センターの取り組みと課題
香川大学医学部附属病院看護部救命救急センター 今川さおり
- P1-18-3 災害訓練における強化介入の有効性
医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院リハビリテーション科災害対策委員会 古田 宏
- P1-18-4 日常診療における災害医療教育の価値
香川大学四国危機管理・教育・研究・地域連携推進機構
危機管理先端教育研究センター 萩池 昌信
- P1-18-5 国立病院機構近畿グループにおける病院間災害研修
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 若井 聡智

17:00～17:30

ポスター19 「教育・訓練6」

- 座長 堀内 義仁（横浜市立市民病院皮膚科）
寺師 榮（公益財団法人大阪府看護協会教育研修部）
- P1-19-1 災害時における当院と自治体との連携体制の構築—合同災害訓練を通して—
東京労災病院薬剤部 渡邊 卓巳
- P1-19-2 災害医療への意識改革と技能向上へ向けた取り組み
—大規模災害多数傷病者受け入れ訓練から見たこと—
東京歯科大学市川総合病院看護部 首藤由紀江
- P1-19-3 東北DMAT 参集訓練における模擬患者指導役としての取り組み
—災害メイクや演技指導の検討及び実践—
医療法人辰星会栢記念病院リハビリテーション室 遠藤未由樹
- P1-19-4 当院の災害医療委員会の活動報告
社会医療法人共愛会戸畑共立病院臨床工学科 久野慎太郎
- P1-19-5 管理者の視点で評価した救命救急センター災害系の活動
香川大学医学部附属病院救命救急センター 國方 美佐

2日目 2月2日(金)
第1会場(1階 メインホール)

9:00~10:00

シリーズ温故知新1(救急科領域講習)

「1995年の教訓:東京地下鉄サリンテロ対応から学ぶべきこと,繋いでいくべきこと」

座長 嶋津 岳士(大阪大学大学院医学系研究科救急医学)

シリーズ温故知新1-1 東京地下鉄サリンテロからの教訓:言い残しておきたいこと

社会医療法人東明会, 原田病院 前川 和彦

シリーズ温故知新1-2 1995年の教訓:

東京地下鉄サリンテロ対応から学ぶべきこと,つないでいくべきこと

聖路加国際病院救急部・救命救急センター 石松 伸一

10:00~11:00

教育講演2 「世界の災害医療の潮流」

独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊事務局 勝部 司

座長 福家 伸夫(帝京平成大学健康医療スポーツ学部)

11:00~12:00

招待講演1 「Medical response for mass casualty incident」

SAMU de Paris Necker Hospital Paris Descartes University Pierre A Carli

座長 溝端 康光(大阪市立大学大学院医学研究科救急医学)

13:10~13:50

日本集団災害医学会総会

14:00~15:30

シンポジウム2 「トリアージについて徹底的に考える」

座長 勝見 敦(武蔵野赤十字病院救命救急センター)

中尾 博之(兵庫医科大学救急医学)

SY2-1 歴史から見た triage の本来の意義

兵庫医科大学救急・災害医学講座 中尾 博之

SY2-2 JR福知山線脱線事故における病院トリアージの経験から

京都橘大学健康科学部救急救命学科 久保山一敏

SY2-3 救急隊員(救急救命士)におけるトリアージの問題について

神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 中田 敬司

SY2-4 トリアージ技術等の標準化に向けて一タッグの標準化の経験から

兵庫県健康福祉部 山本 光昭

SY2-5 医療者が学ぶべきトリアージはPAT法である

東京女子医科大学東医療センター救命救急センター 庄古 知久

SY2-6 災害時のトリアージの課題

山形県立救命救急センター 森野 一真

15 : 30 ~ 17 : 00

シンポジウム3 「シームレスなオールジャパンの災害医療支援体制を作るために」

座長 甲斐 達朗（大阪府済生会千里病院千里救命救急センター）

坂本 哲也（帝京大学医学部救急医学講座）

SY3-1 我が国における災害医療体制の現状と課題

厚生労働省医政局地域医療計画課 佐々木 健

SY3-2 JMAT兵庫研修会の変遷—JMATのあり方に関する考察—

兵庫県医師会救急災害医療委員会／川西ペリタス病院 小平 博

SY3-3 大規模地震時医療活動訓練への参加から明らかとなった保健所の課題

豊中市保健所 高岡 由美

SY3-4 災害現場におけるコーディネーションの課題

社会医療法人緑泉会米盛病院救命救急センター 富岡 譲二

SY3-5 DMAT派遣における安全に関して

大阪府済生会千里病院 大場 次郎

SY3-6 大地震後の病院建物の使用継続を判断する判定基準に対する考察

摂南大学理工学部建築学科 池内 淳子

18 : 10 ~ 18 : 55

DMAT連絡会議

2日目 2月2日(金)
第2会場(3階 303+304)

10:00~11:00

ワークショップ4 「トリアージカードを再考する」

座長 久保山一敏(京都橘大学健康科学部救急救命科)

勝見 敦(武蔵野赤十字病院)

WS4-1 トリアージタグはどこまで記載可能か?

公立豊岡病院但馬救命救急センター 小林 誠人

WS4-2 熊本地震における基幹災害拠点病院での院内トリアージ

熊本赤十字病院救急科 奥本 克己

WS4-3 災害現場の『黒』における診療と対応について

前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科救急科 藤塚 健次

WS4-4 3SPiders(ICカードを用いたトリアージシステム)

大阪急性期・総合医療センター 松田 宏樹

12:10~13:10

ランチョンセミナー1

「『寿司安城』を基本に、災害・外傷診療の初動を客観視し多面的に捉える」

名古屋掖済会病院救命救急センター 北川 喜己

座長 野口 宏(愛知医科大学)

14:00~15:30

シンポジウム4 「東京オリンピック開催時の救急災害医療体制」

座長 横田 裕行(日本医科大学救急医学)

奥寺 敬(富山大学救急医学)

SY4-1 東京オリンピック開催時の救急災害医療体制—東京都医師会の対応—

東京都医師会 猪口 正孝

SY4-2 東京2020大会に向けた救急業務体制

東京消防庁救急部 森住 敏光

SY4-3 2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る

救急・災害医療体制を検討する学術連合体における日本救急医学会の役割

順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科／

日本救急医学会東京オリンピック・パラリンピックコンソーシアム

活動対応特別委員会 杉田 学

SY4-4 爆弾テロ対応は、これまでの多数傷病者対応を根本的に見直す必要がある

東京医科歯科大学大学院救急災害医学 大友 康裕

SY4-5 看護師によるMCIに向けた教育と緊急時の備えへの取り組み

一般社団法人日本救急看護学会災害看護委員会担当理事 箱崎 恵理

16:00～17:00

パネルディスカッション5

「災害医療教育と訓練：いかに多くの人を育成し、いかに多くの人々の参画を得るか」

座長 川瀬 鉄典（兵庫県災害医療センター）

東岡 宏明（ひがしおかメディケアクリニック）

PD5-1 平日全外来診療を休診として開催した大規模災害訓練
—多くの人の育成と参画を目指した大学病院の取り組み—

東京女子医科大学救急医学 武田 宗和

PD5-2 チーム医療・協働実践の習得に焦点をあてた看護師災害教育・訓練の一提案

独立行政法人労働者健康安全機構関東労災病院 高田由紀子

PD5-3 日本集団災害医学会セミナーの果たす役割について

日本医科大学多摩永山病院救命救急センター 久野 将宗

PD5-4 メデュテイメントを用いた災害医療訓練

医療法人社団親樹会恵泉クリニック 太田 祥一

2日目 2月2日(金)
第3会場(3階 311+312)

10:00~11:00

教育講演3 「爆傷患者の管理—JATEC プラスアルファの対応—」

大阪市立大学大学院医学研究科救急医学 溝端 康光

座長 富岡 譲二(社会医療法人緑泉会米盛病院)

11:00~12:00

パネルディスカッション4 「災害時救護活動に必要な法知識」

座長 植田 信策(石巻赤十字病院呼吸器外科)

PD4-1 九州北部豪雨災害における薬事関連案件への対応

福岡大学薬学部実務薬剤学教室臨床薬学分野 江川 孝

PD4-2 災害時の死因究明における法的課題

日本赤十字社医療センター国内救護部/日本赤十字社医療センター救急科 近藤 祐史

PD4-3 大規模災害時における病院前救護をめぐる法律問題

杏林大学総合政策学部兼大学院国際協力研究科 橋本雄太郎

PD4-4 医療専門職のための災害法制研修プログラム

—災害救助法・安全配慮義務・生活再建知識の備え—

銀座パートナーズ法律事務所/慶應義塾大学法科大学院・法学部 岡本 正

12:10~13:10

ランチョンセミナー2 「集団災害としての熱中症について」

帝京大学医学部附属病院救急科高度救命救急センター 神田 潤

座長 横堀 将司(日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野)

14:00~15:00

教育講演4 「事態対処医療の課題と展望」

防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門・病院救急部 齋藤 大蔵

座長 竹島 茂人(自衛隊中央病院救急科)

15:00~16:00

特別講演4 「災害時の共助と企業の役割」

戸田中央医科グループ 野口 英一

座長 中川 隆(愛知医科大学災害医療研究センター)

16:00~17:00

日本整形外科学会合同シンポジウム 「災害時多数外傷症例に対する骨折治療戦略」

座長 入澤 太郎(大阪大学医学部救急医学)

土田 芳彦(湘南鎌倉総合病院)

JSY3-1 災害時の骨折の特異性と治療戦略

大阪府立中河内救命救急センター 岸本 正文

JSY3-2 多数傷病者に対する骨折治療戦略—整形外科医の立場から—

帝京大学医学部附属病院外傷センター 黒住 健人

JSY3-3 災害時における整形外科医の役割

鳥取大学医学部附属病院 生越 智文

JSY3-4 地域救命センターにおける広域災害時の骨折治療事業継続計画

茨城西南医療センター病院 上杉 雅文

17:00~18:00

日本熱傷学会合同シンポジウム 「同時多数熱傷患者の診療戦略」

座長 池田 弘人（帝京大学医学部救急医学講座）

佐々木淳一（慶應義塾大学医学部救急医学）

JSY4-1 横浜市の熱傷多数傷病者事案の経験から得た課題をもとにした熱傷災害対策への展望

湘南真田クリニック／横浜市立大学救急医学教室 春成 伸之

JSY4-2 多数熱傷患者発生時に対する日本スキンバンクネットワーク（JSBN）の

災害対応プラン：同種皮膚供給体制の現状と課題

日本スキンバンクネットワーク／国立病院機構別府医療センター 鳴海 篤志

JSY4-3 同時多数熱傷患者の収容と分散搬送

防衛医科大学校防衛医学講座 清住 哲郎

JSY4-4 同時多数熱傷患者の診療戦略

—ABLS コースで強調される初期診療の要点と ABLS provider distribution—

東京医科大学救急・災害医学分野 織田 順

2日目 2月2日(金)
第4会場(3階 313+314)

12:10~13:10

ランチョンセミナー3

「2020東京オリンピック・パラリンピック 救命率100%へ向けての体制と準備」

国士舘大学大学院救急システム研究科 田中 秀治
座長 武田 聡(東京慈恵会医科大学救急医学講座)

14:00~15:00

パネルディスカッション5関連セッション1 「災害医療教育・研修・訓練」

座長 小池 薫(京都大学医学部附属病院診療・救急科)
中山 伸一(兵庫県災害医療センター)

- PDR1-1 地域を包括した災害医療教育研修体制の構築〜堺は1つ!
堺市立総合医療センター災害時医療管理センター／
堺市立総合医療センター DMAT／大阪府堺地域メディカルコントロール協議会 中田 康城
- PDR1-2 福井県における災害医療研修についてー地域に根差した顔の見える関係の構築ー
福井大学医学部附属病院救急部 川崎 磨美
- PDR1-3 災害訓練に対する動機づけ(モチベーション)を考える
秋田大学医学部附属病院救急部集中治療部 奥山 学
- PDR1-4 当大学生が参加した大型旅客船での洋上訓練とその後の影響力
日本体育大学保健医療学部救急医療学科 坂田 健吾
- PDR1-5 当院における災害医療教育と訓練
草加市立病院救急科 南 和
- PDR1-6 災害医療キャリアパス:e-learningとセミナーによる履修証明プログラムの構築
新潟大学医学部災害医療教育センター 高橋 昌
- PDR1-7 災害医療研修にいかにより多くの参画者を得るか:
災害医療ポータルサイトD-PORTの開設
新潟大学医学部災害医療教育センター 和泉 邦彦

15:00~16:00

パネルディスカッション5関連セッション2 「災害医療教育・研修・訓練」

座長 佐々木淳一(慶應義塾大学医学部救急医学)
小谷 穰治(神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害・救急医学分野)

- PDR2-1 静岡県志太榛原地域において、いかに災害医療研修会を広めてきたか
市立島田市民病院 松岡 良太
- PDR2-2 災害拠点病院としての災害訓練
ーDMAT・健康福祉事務所(保健所)との連携についてー
兵庫県立加古川医療センター救急科 板垣 有亮
- PDR2-3 県主導で行ったブラインド型のDMAT出動訓練について
長崎大学病院救命救急センター／長崎DMAT 山下 和範
- PDR2-4 災害時に保健医療調整業務を援助するために保健所・市町村へ県庁職員を
自主的に派遣する青森県の新たな体制構築およびその教育について
青森県立中央病院救急部 小笠原 賢
- PDR2-5 災害時の多機関連携における大阪府の取組について
大阪府健康医療部保健医療室医療対策課 積 翔太

- PDR2-6 南多摩保健医療圏災害医療ワーキンググループの活動と効果
日本体育大学保健医療学部／日本医科大学多摩永山病院 鈴木 健介
- PDR2-7 Eureka! を求める研修
災害医療ACT研究所研修カリキュラム委員会 森野 一真

16:00～17:00

シンポジウム2関連セッション 「東京オリンピック・パラリンピック」

座長 北川 喜己（名古屋掖済会病院救急科・外科）

- SYR-1 東京オリンピックパラリンピックに必要なICTを活用した体制支援
防衛医科大学校救急部兼防衛医学研究センター外傷研究部門 秋富 慎司
- SYR-2 オリンピック期間中の救急医療体制にテロを含む多数傷病者対応をいかに組み込むか？
山梨県立中央病院救命救急センター総合診療感染症センター 井上 潤一
- SYR-3 2020年東京オリンピックのためにテロ対策医療の確立を目指して
九州大学大学院医学研究院先端医療医学講座災害救急分野 永田 高志
- SYR-4 医療機関が標的となる犯罪事象「テロ」への備え
—来るべき事件に対して我々はどう備えるべきか—
東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター 加藤 渚
- SYR-5 新規国際フルマラソン大会における救護計画の策定とその転帰
東北労災病院外科 赤田 昌紀
- SYR-6 東京オリンピック・パラリンピック版J-SPEED/MDSの開発
産業医科大学医学部公衆衛生学講座 久保 達彦
- SYR-7 東京オリンピック・パラリンピック2020で競技会場ごとに準備すべき医療救護体制
東京都医師会救急委員会 石川 秀樹

17:00～18:00

一般演題 口演3 「事例報告・対策（マスギャザリング）」

座長 小澤 和弘（愛知医科大学災害医療研究センター）

高橋 耕平（横浜南共済病院救急科）

- 03-1 第50回アジア開発銀行（ADB）年次総会における横浜市医療救護体制について
横浜市立市民病院救命救急センター／横浜市ADB年次総会医療救護ワーキング 伊巻 尚平
- 03-2 函館マラソンの医療救護体制—路線バスの救護所への活用について—
市立函館病院救命救急センター 武山 佳洋
- 03-3 出雲駅伝におけるマスギャザリングと救急医療体制の現状と今後の課題
島根県立中央病院救命救急科 佐藤 弘樹
- 03-4 当救急医療圏におけるウインドサーフィンワールドカップ大会の医療救護活動
横須賀共済病院救急科／横浜市立大学医学部救急医学教室 土井 智喜
- 03-5 ドローンを活用したマラソン救護体制の経験
岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター 名知 祥
- 03-6 大規模イベントに対する応急救護体制確保の指針について
福岡市消防局 大木 哲郎
- 03-7 夏季オリンピック大会会期中の傷病者カテゴリー別の考察
富山大学大学院危機管理医学／オリンピック救護医療研究会 奈良唯唯子
- 03-8 花火大会会場への落雷により発生した多数傷病者の受け入れ経験
国立病院機構東京医療センター救急科 小林 祐介

2日目 2月2日(金)
第5会場(5階 511+512)

10:00~11:00

一般演題 口演4 「事例報告・対策(人為災害)」

座長 石松 伸一(聖路加国際病院救急部)

齋藤 大蔵(防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門)

- | | | |
|------|--|---|
| 04-1 | 血液抗酸化能を指標とした放射線被ばく線量の推定 | 東北大学災害科学国際研究所 稲葉 洋平 |
| 04-2 | 岐阜県の診療放射線技師による原子力災害を想定した取り組み | 大垣市民病院医療技術部診療検査科 加藤 勲 |
| 04-3 | 滋賀県の新しい原子力災害医療体制と今後の展望 | 長浜赤十字病院医療社会事業部 中村 誠昌 |
| 04-4 | 原子力災害拠点病院における原子力災害傷病者が混在する
多数傷病者受け入れ訓練の実施 | 福島県立医科大学放射線災害医療学講座／福島県立医科大学附属病院放射線部 田代 雅実 |
| 04-5 | あたらしい原子力災害医療体制の現状と課題 | 福島県立医科大学医学部放射線災害医療学講座 長谷川有史 |
| 04-6 | 院内で起こった化学熱傷及び化学薬品による二次曝露の経験 | 高知医療センター救命救急センター 野島 剛 |
| 04-7 | 国民保護共同実動訓練におけるCBRNE被災者の病院受け入れ一経過と問題点一 | 京都第一赤十字病院救命救急センター救急科 竹上 徹郎 |
| 04-8 | 化学テロの現場対応指針に関する大幅な変更の提案 | 藤沢市民病院救命救急センター 阿南 英明 |

11:00~12:00

一般演題 口演5 「多機関・多職種連携2」

座長 清住 哲郎(防衛医科大学校防衛医学講座)

- | | | |
|------|--|---------------------------------|
| 05-1 | 災害による断水を想定した白浜町との合同給水訓練の実施 | 公益財団法人白浜医療福祉財団白浜はまゆう病院総務課 布袋 仁也 |
| 05-2 | 「チーム富山」一多機関連携に向けた富山県の取り組み一 | 厚生連高岡病院救命救急センター 伊藤 宏保 |
| 05-3 | 政令指定都市の災害時医療救護体制構築にDMATは積極的に参画すべきである | 浜松医科大学救急災害医学講座 高橋 善明 |
| 05-4 | 北九州市地域における多数傷病者発生時の連携強化に向けて | 健和会大手町病院救急科 山本 康之 |
| 05-5 | エマルゴを用いた地域関係機関連携の構築一長野県神城断層地震災害の経験から一 | 市立大町総合病院 中村 厚子 |
| 05-6 | JR東日本と東京医科歯科大学の災害時医療連携の取り組み
東京駅大規模災害訓練の計画から実施まで | 東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター 加藤 渚 |
| 05-7 | 海上自衛隊輸送艦上での医療モジュール展開訓練 | 徳島県立三好病院救急科 三村 誠二 |
| 05-8 | 熊本地震における自衛隊救護所とモバイルファーマシーの連携 | 防衛医科大学病院小児科 武 純也 |

12:10~13:10

ランチョンセミナー4 「大震災を生き抜くための食事学」

宮城大学食産業学群 石川 伸一

司会 本田 紀子（カリフォルニアプルーン協会）

14:00~15:00

一般演題 口演6 「指揮・調整・安全・評価」

座長 井 清司（熊本赤十字血液センター）

森崎 善久（美幌町立国民健康保険病院外科）

06-1 保健医療支援の調整システムについて、経験・問題点・解決策と将来展望

三重大学医学部附属病院災害医療センター／

三重大学地域圏防災減災研究センター災害医療部門 武田 多一

06-2 八幡浜・大洲圏域における医療施設勤務職員の大災害時勤務交流に関する意識調査

市立八幡浜総合病院救急部 川口 久美

06-3 災害時に2つの病院が協働して活動するためには
—兵庫県基幹災害拠点病院の活動—

兵庫県災害医療センター 津田 雅美

06-4 日本栄養士会災害対策本部における事務局体制の役割

公益社団法人日本栄養士会 清水 詳子

06-5 災害時危険を伴う地域での医療者の活動指針作成に向けて

福島県立医科大学修士課程災害被ばく医療科学共同専攻医科学科 佐藤めぐみ

06-6 エボラウイルス感染症アウトブレイク時のリスクコミュニケーション

愛知医科大学災害医療研究センター 児玉 貴光

06-7 東日本大震災後の南三陸町における病院外の医療ニーズ解析

東北大学災害科学国際研究所災害医療国際協力学分野 須田 智美

06-8 大規模災害時多職種による情報共有基盤の構築：
高汎用性ラピッドアセスメントシートの開発

宮崎大学看護学科地域精神看護学講座／国立保健医療科学院健康危機管理研究部 原田奈穂子

15:00~16:00

一般演題 口演7 「情報伝達」

座長 徳野 慎一（東京大学大学院医学系研究科音声病態分析学講座）

大野 龍男（国立病院機構災害医療センター）

07-1 先遣隊活動を支援するドローンの活用方法の検討

東海大学健康科学部看護学科 大山 太

07-2 大規模災害時のDMAT受付管理システムの作成

兵庫県立尼崎総合医療センター DMATロジスティクス 安達 一真

07-3 DMAT本部活動における仮設IP内線電話利用の試み

総合病院山口赤十字病院 末永利一郎

07-4 GPSデータを活用したDMATにおけるEMISの活動状況更新の検証

神戸赤十字病院 中田 正明

07-5 スマートフォン動画伝送システム（クラウド式）を用いた新たな情報共有ツールの検証

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 平林 篤志

07-6 クラウド救急医療連携システムで実現する県境を超えた仮想二次医療圏での広域連携

国立大学法人福井大学医学部 笠松 眞吾

07-7 災害時における通信手段の選択に関する1考察

伊勢赤十字病院事務部医事第二課 竹野 祐輔

07-8 自衛隊艦船の構造の違いと艦船内通信環境確保について
神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 中田 敬司

16:00~17:00

一般演題 口演8 「訓練（情報伝達）」

座長 島田 二郎（福島県立医科大学附属病院ふたば救急総合医療支援センター）
中川 儀英（東海大学医学部救命救急医学）

- 08-1 局所災害時の救護所における情報管理に対する試み—中部国際空港訓練から—
愛知医科大学救急診療部 加納 秀記
- 08-2 和歌山県 DMAT ロジスティクス研修の企画・実施
公益財団法人白浜医療福祉財団白浜はまゆう病院総務課 布袋 仁也
- 08-3 個人情報カードを用いた透析患者の避難訓練の試み
清水赤十字病院医療技術部臨床工学技術課／清水赤十字病院看護部／
清水赤十字病院外科／清水赤十字病院消化器内科 村谷 拓
- 08-4 電子メールのみを活用した緊急連絡網運用訓練の経験
市立八幡浜総合病院救急部看護部 石見 久美
- 08-5 災害訓練におけるPDA端末使用に関する有用性に関して
熊本大学医学部付属病院救急・総合診療部 上園 圭司
- 08-6 院内防災訓練における電子カルテ運用中の外来トリアージについて
徳山中央病院救命救急センター 宮本 拓
- 08-7 災害訓練を通して行う電子カルテの災害対策
熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部 入江 弘基
- 08-8 災害時病院退避を想定した情報管理訓練
—病院移転患者搬送におけるグループウェアの活用
気仙沼市立病院脳神経外科 成田 徳雄

2日目 2月2日(金)
第6会場(2階 211+212)

10:00~11:00

一般演題 口演9 「教育・研修1」

座長 鍛冶 有登(岸和田徳洲会病院救命救急センター)

三浦 友也(横浜市立大学医学部附属病院看護部)

- | | |
|------|--|
| 09-1 | 東京オリンピックにおいて救急救命士を活用するために必要な研修内容の検討
2020年に向けたPrivateEMTのワークショップ実行委員会 福島 圭介 |
| 09-2 | 災害医療体制の構築における訓練パッケージ化の有用性
東京医科大学八王子医療センター救命救急センター 上杉 泰隆 |
| 09-3 | 市民メディカルラリーの開催—災害関連死の減少を目指して—
南奈良総合医療センター循環器内科 守川 義信 |
| 09-4 | メディカルラリーにおける避難所支援シミュレーションの取り組み
岡山済生会総合病院救急科 稲葉 基高 |
| 09-5 | 大規模災害リハビリテーション支援本部運営ゲーム(REHUG)の開発経緯と紹介
医療法人社団恵生会勝久病院リハビリテーション部／
公益社団法人熊本県理学療法士協会 佐藤 亮 |
| 09-6 | Application of Game-Based Learning
in Education on Disaster Medicine for Medical Students
West China School of Medical, Sichuan University Liu Zihan |
| 09-7 | 災害局面に応じた効果的な訓練の考察
福岡市消防局警防部救急課 納富 一則 |
| 09-8 | 病院施設被害を考慮した災害研修プログラム(DT-H)を
病院独自に行った結果と今後の展開考察
済生会横浜市東部病院事務部 地場 秀爾 |

11:00~12:00

一般演題 口演10 「教育・研修2」

座長 佐藤 慎一(日本医師会)

大津谷耕一(大阪府済生会千里病院千里救命救急センター)

- | | |
|-------|---|
| O10-1 | 効果的な災害トリアージ学習会の検証
—ARCSモデルに基づいて企画した学習会の調査結果より—
東海大学医学部付属八王子病院 吉田 浩太 |
| O10-2 | 災害体験訓練を通しての学び
—トリアージタグ使用時と、3スパイダース使用時の教育効果の比較—
近畿大学附属看護専門学校看護学科 新木 基子 |
| O10-3 | エレベーター停止を想定した臨時病棟発足の評価と課題
—SWOTクロス分析を用いた院内災害訓練の検証—
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター 飛松 典子 |
| O10-4 | 大規模災害時地域における在宅呼吸障害患者のケアに対する
院内酸素ステーション立ち上げ訓練の経験
公立陶生病院災害医療委員会 市原 利彦 |
| O10-5 | 消防団セフティ・ファースト研修の紹介
国立病院機構災害医療センター 小森 健史 |

010-6 日本DMORTと家族支援のあり方

名古屋掖済会病院 稲波 泰介

010-7 医学生は災害医療に興味を持つか？

慶應義塾大学医学部救急医学 洪沢 崇行

12:10~13:10

ランチョンセミナー5 「我々が経験してきた局地災害対応—過去から現在へ—」

公立豊岡病院但馬救命救急センター 小林 誠人

座長 守谷 俊（自治医科大学附属さいたま医療センター救急科／救命救急センター）

14:00~15:00

一般演題 口演11 「DMAT など」

座長 富岡 譲二（社会医療法人緑泉会米盛病院救急科）

町田 浩志（前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科救急科）

011-1 東日本大震災に派遣されたDMAT看護師隊員の看護活動に関する調査

—被災者の看護診断から—

愛知医科大学病院高度救命救急センター／日本集団災害医学会災害看護委員会 川谷 陽子

011-2 熊本地震に派遣されたDMAT看護師隊員の看護活動に関する調査

—被災者の看護診断から—

札幌医科大学附属病院高度救命救急センター／

日本集団災害医学会災害看護委員会 田口裕紀子

011-3 東日本大震災および熊本地震に派遣されたDMAT看護師に関する分析

ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター／

日本集団災害医学会災害看護委員会 高田 洋介

011-4 DMATに登録する看護師の特徴とSOC（Sense of coherence）との関連

東京医療保健大学東が丘・立川看護学部看護学科災害看護学コース 室谷 愛海

011-5 支援小児周産期リエゾンとして内閣府大規模地震時医療活動訓練と

中国地区DMAT連絡協議会実動訓練に参加して考えられた今後の課題

山梨赤十字病院産婦人科 渡邊 直子

011-6 災害時小児周産期リエゾンの役割—DMATブロック訓練参加から得た成果と課題—

岡山大学病院救命救急科 塚原 紘平

011-7 平成28年熊本地震におけるDPAT隊員へのアンケート調査結果報告

—DPAT活動における課題抽出と今後の展望—

国立病院機構琉球病院／DPAT事務局 知花 浩也

011-8 一般社団法人・日本DMORT発足までの、この10年の歩み

神戸赤十字病院心療内科 村上 典子

15:00~16:00

一般演題 口演12 「訓練（演習）」

座長 古谷 良輔（国立病院機構横浜医療センター救急科）

012-1 消防・警察・DMAT合同救助訓練に参加して

山梨県立中央病院救命救急センター 岩瀬 史明

012-2 多数検案事例発生時の病院対応—宮城県警察との連携訓練を実施して—

東北大学病院 阿部 喜子

012-3 赤十字第4ブロック訓練の取り組み

京都第一赤十字病院医療社会事業部 高階謙一郎

- 012-4 病院内に併設したキャバ有 SCU の検証
三重北医療センターいなべ総合病院 辻内 友恵
- 012-5 多機関連携実動演習で参集訓練を同時に行うことは無駄である
兵庫県災害医療センター 川瀬 鉄典
- 012-6 初めてブラインド型院内訓練を実施して得た事
一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 村田 沢人
- 012-7 全職員参加型の災害対策訓練への取り組み〔第二報〕
—災害対策訓練に関する意見調査の結果を反映させる—
公立甲賀病院HCU/救急 伝川 洋子

16:00~17:00

一般演題 口演13 「トリアージ・治療・搬送1」

- 座長 林 靖之（大阪府済生会千里病院千里救命救急センター）
鈴木 伸行（豊橋市民病院救命救急センター）
- 013-1 今こそ再考したいトリアージタグの形式と使用法
東京都医師会救急委員会災害医療研修部会 石川 秀樹
- 013-2 テロ災害時により効果的なトリアージ方法は—津久井やまゆり園事件から考える—
北里大学医学部救命救急医学 服部 潤
- 013-3 黒タグについて考える—遺族支援、救援者ストレスの視点から—
神戸赤十字病院心療内科 村上 典子
- 013-4 局地災害/多数傷病者事案に対する新しい活動指針“Plan Red”
日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 益子 一樹
- 013-5 院内外の患者搬送から広域医療搬送まで活用できる救急ラック開発について
防衛医科大学校救急部兼防衛医学研究センター外傷研究部門 秋富 慎司
- 013-6 震災時の病院で「災害診療記録」を有効活用するためには何を準備すべきか？
浜松医科大学救急災害医学講座 高橋 善明
- 013-7 災害時服薬支援に係る一考察
正清会三陸病院薬剤科 加藤 昭一
- 013-8 広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）におけるX線撮影の意義について
大阪急性期・総合医療センター医療技術部画像診断科 魚澤 里奈

17:00~18:00

一般演題 口演14 「トリアージ・治療・搬送2」

- 座長 黒住 健人（帝京大学医学部附属病院外傷センター）
若井 聡智（国立病院機構大阪医療センター救命救急センター）
- 014-1 南海トラフ地震における滋賀県SCUの問題点とその有用性
—平成29年度政府主催医療搬送時訓練を通して—
市立大津市民病院看護局ICU 吉田 修
- 014-2 大阪国際空港における広域医療搬送拠点臨時医療施設設置について
社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院 寺澤ゆかり
- 014-3 SCU（Staging care unit）サポートチーム—SCUでの診療を円滑に行うために—
大阪府立中河内救命救急センター 島津 和久
- 014-4 Staging Care Unit（SCU）を災害時に機能させるには？（第2報）
公立豊岡病院但馬救命救急センター 小林 誠人
- 014-5 機動性の優れたドクターヘリによる災害医療支援
久留米大学病院高度救命救急センター 山下 典雄

2日目 2月2日(金)
ポスター会場(3階 315)

17:00~17:30

ポスター20 「情報伝達1」

座長 説田 守道(伊勢赤十字病院救命救急センター)
市原 正行(国立病院機構災害医療センター臨床研究部)

- | | | |
|---------|--------------------------------------|-------------------------------|
| P2-20-1 | 多数傷病者受入時の情報共有 | 神戸赤十字病院事務部情報管理課 岡田 浩明 |
| P2-20-2 | 災害時情報集約システムの構築 | 加古川中央市民病院総務部 原田 隆行 |
| P2-20-3 | 大規模災害を想定した院内情報システムの備え | 香川県立中央病院医療情報管理室 吉田 誠治 |
| P2-20-4 | 東京都南多摩保健医療圏において継続実施した情報通信訓練の検討と今後の展望 | 東京医科大学八王子医療センター救命救急センター 齋藤 健吾 |
| P2-20-5 | DPAT向け精神科病院リアルタイム震度情報システムの開発 | 鹿児島大学地域防災教育研究センター 石峯 康浩 |

17:30~18:00

ポスター21 「情報伝達2」

座長 八木 啓一(横浜市立みなと赤十字病院救命救急センター)
鈴木 教久(国立病院機構大阪医療センターDMAT事務局)

- | | | |
|---------|---|--------------------------------|
| P2-21-1 | 音声通信とデータ通信の迅速性と正確度に関する考察 | 伊勢赤十字病院事務部医事第二課 竹野 祐輔 |
| P2-21-2 | 大規模災害時における兵庫県内の日本赤十字社無線の整備と活用 | 神戸赤十字病院 揚野 達也 |
| P2-21-3 | 災害救護所活動を想定したアマチュア無線画像通信訓練 | 名古屋第二赤十字病院アマチュア無線クラブ 佐藤 公治 |
| P2-21-4 | 大規模災害発災後、回線共有音声呼出電話機(テスピ)は院内をつなぐ | 東京都立多摩総合医療センター救命救急センター 森川健太郎 |
| P2-21-5 | 訓練の要らない院内衛星電話設備構築の工夫
～あいち小児保健医療総合センターにおける実践例 | あいち小児保健医療総合センター総合診療科部救急科 水野 光規 |

17:00~17:24

ポスター22 「トリアージ1」

座長 杉田 学(順天堂大学医学部附属練馬病院救急・集中治療科)

- | | | |
|---------|-------------------------------|-----------------------------------|
| P2-22-1 | A病院におけるトリアージタグ記載の有効性の検証と課題 | 富山市立富山市民病院看護部 山路 修平 |
| P2-22-2 | 当大学生におけるSTART法の正確性の検証 | 日本体育大学保健医療学部救急医療学科 入部 祐郁 |
| P2-22-3 | 大規模災害訓練、黒エリアの展開と今後の課題 | 埼玉成恵会病院 三浦 忍 |
| P2-22-4 | MIMMSと治療待機群を導入したトリアージの改善点について | 防衛医科大学校救急部兼防衛医学研究センター外傷研究部門 秋富 慎司 |

17:24~17:48

ポスター23 「トリアージ2」

座長 甲斐聡一郎（兵庫県災害医療センター）

青木 正志（茨城県立中央病院救命救急センター）

P2-23-1 トリアージ・コミュニケーションマニュアルの策定と普及

産業技術総合研究所人間情報研究部門 依田 育士

P2-23-2 The Value of Three Triage Methods in the Rapid Secondary Triage Based on Jiuzhaigou and Lushan Earthquake Victim Database

Emergency Department of West China Hospital, Sichuan University Wang Wanting

P2-23-3 大量火傷事故のためのトリアージ法：パイロット研究

West China Hospital of Sichuan University, China Yao Peng

P2-23-4 The application of BIG trauma score in triage

Emergency department of Western China hospital, Si Chuan university Hao Di

17:00~17:30

ポスター24 「治療・搬送」

座長 奈良 理（手稲溪仁会病院救命救急センター）

大桃 丈知（直和会平成立石病院地域救急医療センター救急科）

P2-24-1 民間医療ヘリは災害時の有用なツールになり得る

社会医療法人緑泉会米盛病院／社会医療法人財団池友会救急搬送システム部 富岡 譲二

P2-24-2 フライトナースの災害時出動における整備状況

順天堂大学医学部附属静岡病院救命救急センター 多田 真也

P2-24-3 災害時における新生児ドクターヘリ搬送

信州大学医学部救急集中治療医学教室 高山 浩史

P2-24-4 災害発生時に速やかな診療エリア設営を目指したエリア別物品管理の有効性

大阪市立総合医療センター ER外傷センター救急外来 太田 圭一

P2-24-5 広域基幹災害拠点病院における臨床工学技士の取り組み

東京都立広尾病院麻酔科臨床工学室 永田 翔太

17:30~18:00

ポスター25 「教育・訓練7」

座長 高階謙一郎（京都第一赤十字病院）

P2-25-1 県立大SCU運営で見えた問題点と今後の課題

—平成29年度大規模地震時医療活動訓練—

彦根市立病院 佐伯 公亮

P2-25-2 高台移転した病院における南海トラフ地震に備えた外傷初療コース「救護所PTLS」の開催

徳島県立海部病院 加納 将嗣

P2-25-3 医師会でロジスティックス研修会を開催する意義

直和会平成立石病院地域救急医療センター救急科／公益社団法人墨田区医師会 大桃 丈知

P2-25-4 減災カレンダーの開発

東京都立広尾病院減災対策支援室 吉田 茜

P2-25-5 平成29年度大規模地震時医療活動訓練における災害拠点精神科病院機能の運用と課題

DPAT事務局 吉田 航

17:00～17:30

ポスター26 「DMAT など1」

座長 有村 敏明（パールランド病院）

岩瀬 史明（山梨県立中央病院救命救急センター）

P2-26-1 民間航空機を利用したDMAT派遣について

茨城県立中央病院薬剤科 青山 一紀

P2-26-2 DMATに対する一般市民の意識調査—市民公開講座を通じて—

春日井市民病院救命救急センター 近藤 圭太

P2-26-3 空路による参集拠点本部の対応

社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院 橋 岳志

P2-26-4 当救命センターにおける東京DMATカーの平時の活用方法の検討

東京女子医科大学東医療センター救急医療科 岩崎 恵

P2-26-5 DMAT活動と原子力災害医療対応（H29年東北ブロックDMAT参集訓練）

東北大学病院高度救命救急センター 藤田 基生

17:30～18:00

ポスター27 「DMAT など2」

座長 大城 健一（川崎市立看護短期大学）

高野 博子（国立病院機構信州上田医療センター手術室看護部）

P2-27-1 看護師のDMAT隊員としての役割

健和会大手町病院 池部美奈子

P2-27-2 DMAT看護師によるロジスティック業務について

公益財団法人白浜医療福祉財団白浜はまゆう病院 須崎 智之

P2-27-3 当院におけるDMAT出動時の後方支援体制について

独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター 竹田明希子

P2-27-4 混成チームによるDMAT調整本部活動の経験と課題

松阪市民病院 鈴木 紗知

P2-27-5 都道府県職員DMAT業務調整員の有用性の検討

千葉県病院局経営管理課 丹内 一成

P2-27-6 那須岳雪氷災害におけるDMAT活動について

那須赤十字病院救命救急センター 林 堅二

17:00～17:30

ポスター28 「事例報告・対策1」

座長 加地 正人（東京医科歯科大学救急災害医学ERセンター）

梶野健太郎（関西医科大学救急医学講座）

P2-28-1 集中治療室における停電対策—停電時アクションカードの導入—

市立岸和田市民病院 大谷 悠

P2-28-2 瞬時電圧低下による非常用電源を含む院内停電の経験

社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院 三戸 正人

P2-28-3 原子力災害に備えて：日本赤十字社水戸赤十字病院の取り組み

水戸赤十字病院脳神経外科 遠藤 聖

P2-28-4 DMATと原子力災害医療支援チームの連携

弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター 伊藤 勝博

P2-28-5 テロ対策医療・事態対処医療国際標準教育プログラム

” Tactical Medicine ESSENTIALS” 全世界における普及の取り組み

愛知医科大学 照井 資規

17:30~18:00

ポスター29 「事例報告・対策2」

座長 秋富 慎司（防衛医科大学校救急部兼防衛医学研究センター外傷研究部門）
山崎 元靖（済生会横浜市東部病院救命救急センター）

- P2-29-1 東名高速道路多数傷病者発生事故派遣の一考察
豊橋市民病院救急外来センター 杉浦 淳平
- P2-29-2 東名高速道路多数傷病者発生事故派遣における後方支援体制の一考察
豊橋市民病院救急外来センター 藤澤 佳子
- P2-29-3 東名高速道路交通事故により発生した多数傷病者に対する
豊川市民病院の対応に関する検討
豊川市民病院キャリア支援センター 山口 裕之
- P2-29-4 緑の恐怖
神戸市立医療センター中央市民病院救急救命センター 榛本 悠嗣
- P2-29-5 埼玉県川越市で発生した大型バス事故について
～多国籍多数傷病者事案での『ス指安情報要場所取り』のふりかえり～
埼玉医科大学総合医療センター救急科（ER） 平松玄太郎

17:00~17:30

ポスター30 「事例報告・対策3」

座長 高橋 昌（新潟大学医学部災害医療教育センター）

- P2-30-1 医療機関内で発生した刺傷事件に対する現場対応の経験
東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター 岩崎 陽平
- P2-30-2 外国人旅行者を含む集団災害を経験して一災害経験からの課題と改善策一
浜松市消防局浜北消防署 阿部 健太
- P2-30-3 小中学生熱中症集団発生の対応
豊橋市民病院救急外来センター 坂部しのぶ
- P2-30-4 地域の祭礼で発生する多数傷病者対応の検討
堺市立総合医療センター救命救急センター／
堺地域メディカルコントロール協議会 森田 正則
- P2-30-5 茨城県立水戸第一高等学校伝統行事「歩く会」における医療救護の経験（活動報告）
茨城県立中央病院総合診療科 関 義元

17:30~18:00

ポスター31 「事例報告・対策4」

座長 松園 幸雅（荒尾市民病院救急科）

- P2-31-1 富山マラソン2017における救護活動について
砺波地域消防組合 林 一夫
- P2-31-2 小規模マラソン大会における医療救護体制の問題とその対策
「えびの京町温泉マラソン」の経験から
宮崎善仁会病院救急総合診療部 牧原 真治
- P2-31-3 第27回仙台国際ハーフマラソン大会の救護体制
東北医科薬科大学医学部救急・災害医療学教室 佐藤 大
- P2-31-4 Nagoya women's marathonでCPAとなりAEDを使用し蘇生に成功した一例
公立陶生病院 藤山 一宗
- P2-31-5 第32回オリンピック競技大会・東京2020パラリンピック競技大会に焦点をあてた
マスギャザリングにおける看護の役割
高知県立大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻 野島 真美

17:00～17:30

ポスター32 「教育・訓練8」

座長 内藤万砂文（長岡赤十字病院医療社会事業部）

田口裕紀子（札幌医科大学附属病院高度救命救急センター，
札幌医科大学北海道病院前・航空・災害医学講座）

P2-32-1 当院における管理当直者に向けた1st step訓練

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院画像診断部 宮崎 寿哉

P2-32-2 役職・役割別机上訓練から見えた課題

—所属長・主任・リーダー対象の机上訓練を実施して—

医療法人社団東光会西東京中央総合病院 山田るり子

P2-32-3 管理師長の夜間災害本部設置訓練の試み

東京都保健医療公社豊島病院 高橋 宏明

P2-32-4 災害発生時の看護スタッフ参集マニュアルの構築

王子総合病院 江村 知春

P2-32-5 災害対策本部立上げに係る管理当直者向け研修会の実地報告

公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター初療室・放射線部・内視鏡室 立山 有希

17:30～18:00

ポスター33 「教育・訓練9」

座長 中島 康（東京都立広尾病院減災対策支援室）

高寺由美子（前橋赤十字病院高度救命救急センター）

P2-33-1 看護師の災害トリアージにおける技能維持と向上に向けた取り組み

—千葉県DMAT看護師会（CDNA）活動報告—

東京慈恵会医科大学附属柏病院看護部ICU 猪俣 絵美

P2-33-2 西尾市医師会と協同したトリアージ研修及び防災訓練

西尾市民病院 永谷 順次

P2-33-3 トリアージタッグを被災者とみなした院内災害訓練

長崎大学病院救命救急センター 猪熊 孝実

P2-33-4 トリアージの観点から淡路病院映像を生かすために

—阪神淡路大震災当日映像記録と災害エスノグラフィーによる啓蒙—

神戸百年記念病院心大血管リハビリテーションセンター 水谷 和郎

P2-33-5 淡路島での大規模地震時医療活動訓練にて課題となった通信環境

兵庫県立淡路医療センター 黒地 正和

17:00～17:30

ポスター34 「教育・訓練10」

座長 石川 秀樹（帝京大学医学部救急医学講座・高度救命救急センター）

山下 直美（大阪府立急性期・総合医療センター）

P2-34-1 手術室における災害対応

愛知医科大学災害医療研究センター 児玉 貴光

P2-34-2 巨大地震発生時，ロボット支援下前立腺全摘術施行中の対応に関する

デモンストレーション映像の作成を通しての周術期安全管理についての考察

名古屋第二赤十字病院救済救護センター 山田 浩史

P2-34-3 透析室における災害訓練—患者参加型災害訓練の継続と今後の課題—

医療法人社団東光会西東京中央総合病院透析室 川田 順也

P2-34-4 臨床工学部門における災害医療への取り組み（第3報）

旭川赤十字病院医療技術部臨床工学課 陶山 真一

P2-34-5 離島病院職員への災害医療に対する意識調査

長崎県上五島病院 和氣 幸佑

17:30~18:00

ポスター35 「教育・訓練11」

座長 中村 光伸（前橋赤十字病院高度救命救急センター）
木野 毅彦（日本医科大学付属病院看護部）

P2-35-1 平成28年度 関東ブロック訓練報告―活動拠点本部を経験して―

深谷赤十字病院救急科 長島真理子

P2-35-2 平成29年度DMAT政府訓練における病院支援指揮所本部活動の経験

金沢市立病院脳神経外科 赤池 秀一

P2-35-3 平成29年度中部ブロックDMAT実働訓練で病院災害対応訓練を実施して

社会医療法人厚生会木沢記念病院医療技術部臨床工学課 児玉 暁人

P2-35-4 DMATが院内災害対応に貢献するために

秋田大学医学部附属病院 山平 大介

P2-35-5 平時におけるDMAT隊員の自主訓練実施の試み

松山赤十字病院 程野 茂樹

17:00~17:24

ポスター36 「教育・訓練12」

座長 山口 均（一宮市立市民病院救命救急センター）
張替喜世一（国士舘大学体育学部スポーツ医科学科）

P2-36-1 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた爆発災害対応訓練

医療法人伯鳳会東京曳舟病院 長橋 和希

P2-36-2 沖縄県消防救急隊に対して行った局所災害時指揮連携・情報管理に関する
机上シミュレーションを用いた教育の効果

東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター 加藤 渚

P2-36-3 地方の大学病院における化学テロ災害を想定した訓練について

宮崎大学医学部附属病院救命救急センター 落合 秀信

P2-36-4 原子力災害医療派遣チーム専門研修における医療実習の工夫と実践

弘前大学大学院保健学研究科放射線技術科学領域 辻口 貴清

P2-36-5 演題取り下げ

17:24~17:54

ポスター37 「教育・訓練13」

座長 森川 精二（金沢市立病院）
安本 友子（大阪府済生会千里病院千里救命救急センター）

P2-37-1 災害意識の啓発を目的とした災害看護の開催からその結果と課題

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院救命救急センター 土屋 一翔

P2-37-2 災害看護研修改定への取り組み

災害医療センター 江津 繁

P2-37-3 大規模災害における災害支援ナースの活動に関する研究

佐賀大学大学院医学系研究科国際保健看護学領域／小城市市民病院 野中 良恵

P2-37-4 東海市と知多市の潜在看護職に実施したDiRAN育成プログラムの実際と課題

日本福祉大学看護学部 新美 綾子

P2-37-5 地域の防災訓練を活用したDiRAN育成プログラムの成果の検証

東海市市民福祉部 後藤 文枝

17:00~17:30

ポスター38 「教育・訓練14」

座長 瀬戸 弘和（伊東市民病院薬剤室）

夏目恵美子（愛知医科大学病院卒後臨床研修センター）

P2-38-1 JIMTEF災害医療研修の現状・成果と課題

国立病院機構東名古屋病院リハビリテーション科／JIMTEF災害対策委員 浅野 直也

P2-38-2 訪問看護ステーションにおける防災教育の取り組みの特徴

国際医療福祉大学保健医療学部看護学科 落合 佳子

P2-38-3 アンドラゴジーを用いた災害研修の実践と評価

宝塚市立病院DMAT 満田 幸士

P2-38-4 パラメディカル対象のワークショップ型少人数災害学習会の取り組み

香川大学医学部附属病院 中妻 征子

P2-38-5 水害における看護職が認識する看護の役割

福岡看護大学看護学部 末永 陽子

17:30~18:06

ポスター39 「教育・訓練15」

座長 卯津羅雅彦（東京慈恵会医科大学附属柏病院救命救急センター）

P2-39-1 ショアリングにおける教育効果の検討

弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学科 千葉 智博

P2-39-2 薬学生・薬局薬剤師に対する災害支援に関する意識調査と

BCPセミナー受講後の変化について（第2報）

株式会社実務薬学総合研究所／田無薬品 磯山 直宏

P2-39-3 学生の意識変化にみるリアリティある災害体験訓練の有用性について

近畿大学附属看護専門学校看護学科 新木 基子

P2-39-4 看護学部学生を対象とした災害看護学実習の実施報告

東京医療保健大学東が丘・立川看護学部 堀田 昇吾

P2-39-5 日本集団災害医学会学生部会 活動報告と今後の展望

日本体育大学保健医療学部救急医療学科 北野信之介

P2-39-6 理学療法士による山岳救助隊活動における地域防災の取り組み

湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科／
秦野市丹沢登山遭難対策協議会／秦野市防災アドバイザー 下田 栄次

3日目 2月3日(土)
第1会場(1階 メインホール)

9:00~10:00

シリーズ温故知新2(救急科領域講習)

「1995年の教訓：阪神・淡路大震災対応から学ぶべきこと、繋いでいくべきこと」

座長 坂本 哲也(帝京大学医学部救急医学講座)

シリーズ温故知新2-1 阪神・淡路大震災を振り返る：

都市直下型地震への当初対応とその後のカルテ閲覧患者調査から

森ノ宮医療大学 吉岡 敏治

シリーズ温故知新2-2 阪神・淡路大震災を改めて振り返る：同じ過ちを繰り返さぬために…

兵庫県災害医療センター 中山 伸一

10:00~11:30

シンポジウム5 「災害時の医療：南海トラフ地震」

座長 黒田 泰弘(香川大学医学部救急災害医学)

吉野 篤人(浜松医科大学救急災害医学講座)

SY5-1 南海トラフ巨大地震の為に何が我々に求められているのか

関西医科大学救急医学講座 梶野健太郎

SY5-2 南海トラフ地震における医療機関備蓄体制のあり方

愛知医科大学災害医療研究センター 小澤 和弘

SY5-3 南海トラフ地震における震災関連死の予測

岐阜医療科学大学保健科学部看護学科 三谷 智子

SY5-4 南海トラフ地震発生時における和歌山県沿岸部地域における問題点と対応

日本赤十字社和歌山医療センター高度救命救急センター 岩崎 安博

SY5-5 南海トラフ地震に対する宮崎県でのとりくみについて

宮崎大学医学部附属病院救命救急センター 落合 秀信

SY5-6 南海トラフ地震時に被災地内で医療を継続するための評価指針と行動指針の検討

藤沢市民病院救命救急センター 阿南 英明

13:10~14:10

特別講演5 「病院船の運用に向けた課題と展望」

公益社団法人モバイル・ホスピタル・インターナショナル 山口 芳裕

座長 和藤 幸弘(金沢医科大学)

14:10~15:40

シンポジウム6 「災害時の医療：首都直下地震」

座長 浅利 靖(北里大学医学部救命救急医学)

猪口 正孝(公益社団法人東京都医師会)

SY6-1 首都直下地震における日本DMATの役割

国立病院機構災害医療センター 小井土雄一

SY6-2 東京都の地域コーディネーター(二次医療圏レベル)の立場から

東京医科大学八王子医療センター救命救急センター 新井 隆男

- SY6-3 首都直下地震発生時の災害拠点病院の医療支援に対する戦略
直和会平成立石病院地域救急医療センター救急科／
公益社団法人東京都医師会救急委員会／同災害医療研修部会／
同区市町村災害医療コーディネーター研修部会 大桃 丈知
- SY6-4 震災時における東京消防庁の消防活動体制について
東京消防庁警防部 石川 義彦
- SY6-5 首都直下地震における災害拠点病院の災害医療受給均衡
災害医療リスクリソースに係る研究会 松田 潔
- SY6-6 首都直下地震における日本赤十字社災害医療コーディネーター制度と運用について
日本赤十字社東京都支部 高桑 大介

15：40～16：25

全国災害拠点病院連絡会議

※原子力規制庁：全国救命救急センターにおける被ばく医療の現状等に関する質問調査（中間報告）

16：25～17：10

全国災害医療コーディネーター救護団体連絡会議

17：10～

閉会式

3日目 2月3日(土)
第2会場(3階 303+304)

10:00~11:00

招待講演2 「Triage from an intensivist's point of view」

Middlemore Hospital David Galler

座長 中村 京太(横浜市立大学附属市民総合医療センター安全管理室)

11:00~12:00

日本集中治療医学会合同シンポジウム 「多数傷病者発生時のICU運用体制」

座長 田勢長一郎(福島県立医科大学)

成松 英智(札幌医科大学救急医学)

JSY5-1 震災時の基幹災害拠点病院としての集中治療室運用の経験

福島県立医科大学付属病院高度救命救急センター 反町光太郎

JSY5-2 医療需給均衡の定量化指標を用いた被災地域内災害拠点病院ICUの支援必要量の評価

災害医療リスクリソースに係る研究会 問田 千晶

JSY5-3 ICUにおける災害対応の現状と課題

札幌医科大学医学部救急医学講座/日本集中治療医学会危機管理委員会 水野 浩利

JSY5-4 多数傷病者発生時のICU運用体制

—日本集中治療医学会でのオリンピック・パラリンピックの準備に向けて—

日本大学医学部救急医学系救急集中治療医学分野 櫻井 淳

12:10~13:10

ランチョンセミナー6 「災害時における要介護者の防災対策」

国立病院機構災害医療センター 小井土雄一

浅井謙建築研究所株式会社 浅井 謙史

ITヘルスケア学会/高瀬クリニック 高瀬 義昌

座長 野口 英一(戸田中央医科グループ災害対策特別顧問/元東京消防庁救急部長)

13:10~14:10

市民公開講座2 「『夜と霧』ヴィクトール・フランクルをたどる」

朝日新聞記者 河原 理子

司会 石井 史子(岡山赤十字病院検査部, 医療社会事業部)

14:10~15:10

ワークショップ8 「医療機関のBCPを地域全体から多角的に考える」

座長 本間 正人(鳥取大学医学部器官制御外科学講座救急・災害医学分野)

佐々木宏之(東北大学災害科学国際研究所)

WS8-1 医療機関にBCPの求められる地域連携の視点

東北大学災害科学国際研究所 丸谷 浩明

WS8-2 医療機関のBCPを地域全体から多角的に考える

横浜市立市民病院 堀内 義仁

WS8-3 地域の助けになる医療機関のBCPの礎として情報管理と人材確保の方法を整えよう

東京都立広尾病院減災対策支援室 中島 康

WS8-4

災害時の医療と医療機関の危機管理経営—BCMをテーマに

株式会社日本政策投資銀行サステナビリティ企画部BCM格付主幹 蛭間 芳樹

3日目 2月3日(土)
第3会場(3階 311+312)

9:00~10:00

教育講演5 「マシガザリングにおけるアウトブレイク対策」

国立国際医療研究センター病院総合感染症科 大曲 貴夫
座長 杉田 学(順天堂大学練馬病院)

10:00~11:00

教育講演6

「ER and ICU Surge Capacity by MERS (EMSS in Middle East Respiratory Syndrome patients)」

Department of Emergency Medicine, Wonju College of Medicine, Yonsei University Kang Hyun Lee
座長 箱崎 幸也(医療法人社団元気会横浜病院)

11:00~12:00

パネルディスカッション6 「火山噴火災害時の医療」

座長 吉原 秀明(鹿児島市立病院救命救急センター)
井上 潤一(山梨県立中央病院救命救急センター)

PD6-1 御嶽山火山災害から学ぶこと

日本医科大学付属病院高度救命センター 小笠原智子

PD6-2 火山噴火災害時の医療:雲仙・普賢岳火砕流災害が今もし起こったら…

兵庫県災害医療センター 中山 伸一

PD6-3 御嶽山2014年噴火以降の火山災害対策

鹿児島大学地域防災教育研究センター 石峯 康浩

PD6-4 桜島火山災害対策における災害医療従事者の視点の重要性

鹿児島市立病院救命救急センター 吉原 秀明

12:10~13:10

ランチョンセミナー7 「事態対処外傷救護の最前線」

防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門 齋藤 大蔵
座長 西山 正徳(元防衛庁衛生参事官/翠会ヘルスケアグループ精神医学研究所)

13:10~14:10

招待講演3 「Disaster medical response for “2017 Central Mexico earthquake”」

Minister of Health of the state of Jalisco Yannick Nordin Servin
座長 永田 高志(九州大学救命救急センター)

14:10~15:10

ワークショップ9 「災害時の医療支援ヘリコプター運用」

座長 高山 隼人(長崎大学病院地域医療支援センター)
竹内 一郎(横浜市立大学大学院医学研究科救急医学)

WS9-1 災害時の航空隊の運用体制と医療面活用への検討状況

横浜市消防局警防部救急課 和田 誠名

- WS9-2 災害時における海上保安庁特殊救難隊の救助救急活動
海上保安庁第三管区海上保安本部羽田特殊救難基地 天方 直人
- WS9-3 CBRNE災害時におけるドクターヘリの対応について
聖隷三方原病院高度救命救急センター 早川 達也
- WS9-4 災害時のドクターヘリ運用—過去の災害から学び、今後の災害に活かす—
前橋赤十字病院高度救命救急センター集中治療科・救急科 中村 光伸

15：10～15：40

2021年世界災害救急医学会（WADEM） 東京開催 企画検討セッション

3日目 2月3日(土)
第4会場(3階 313+314)

9:00~10:00

教育講演7 「福島原発事故災害対応のレガシー」

座長 井上登美夫(横浜市立大学大学院医学研究科放射線医学)

教育講演7-1 私たちは福島から学べたのか?—しくじり医師の環境順応—

福島県立医科大学医学部放射線災害医療学講座 長谷川有史

教育講演7-2 福島原発事故における事前計画を超えた支援活動から生まれた課題

北里大学病院救命救急・災害医療センター 浅利 靖

10:00~11:00

ワークショップ5 「病院避難」

座長 鍛冶 有登(岸和田徳洲会病院救命救急センター)

石井美恵子(東京医療保健大学)

WS5-1 福島第一原発事故の屋内退避地区での病院解散、撤退を経験して
—伊方原発、浜岡原発の医療者のアンケート調査を踏まえて—

安城更生病院脳神経外科脳血管内治療センター 太田 圭祐

WS5-2 熊本地震の本震に遭遇した病院避難活動の検証

鹿児島市立病院救命救急センター 吉原 秀明

WS5-3 H28熊本地震での病院避難(第2報)

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 若井 聡智

WS5-4 病院での災害対応標準化教育コンテンツ(Japan Hospital Evacuation
and Life support Planning for major incident: J-HELP)開発と病院避難

大阪市立大学大学院医学研究科救急医学 山本 啓雅

11:00~12:00

パネルディスカッション7 「受援計画について」

座長 山内 聡(大崎市民病院救急科)

佐藤 栄一(新潟大学医学部災害医療教育センター)

PD7-1 災害時の事業継続戦略に応じた医療機関受援計画の立案について

東北大学災害科学国際研究所災害医療国際協力学分野 佐々木宏之

PD7-2 災害時に枯渇する資源の確保とその課題

—地方公共団体のための災害時受援体制に関するガイドライン—

新潟大学危機管理本部危機管理室 田村 圭子

PD7-3 海外医療支援チームの受け入れに関する諸問題

南三陸病院 西澤 匡史

PD7-4 近年の地震災害にみられる受援の特徴と課題

株式会社サイエンスクラフト防災部 元谷 豊

12:10~13:10

ランチョンセミナー8

「災害医療向けローコストIoTソリューションは、これだ!

—高齢者見守りシステムの実証経験から考える—」

ハッピープロジェクト合同会社 川向 正明

座長 坂本 哲也(帝京大学医学部医学科救急医学講座)

14:10～15:10

ワークショップ10 「薬事コーディネーター制度の拡大にむけて」

座長 渡邊 暁洋（日本医科大学千葉北総病院薬剤部）

藤江 直輝（大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター薬局）

- WS10-1 愛知県災害薬事コーディネーターの特徴と平時の取り組み
新潟大学医学部災害医療教育センター／愛知医科大学災害医療研究センター 和泉 邦彦
- WS10-2 高知県における災害薬事コーディネーターに関する取り組みとこれから
社会医療法人近森会近森病院救命救急センター 井原 則之
- WS10-3 静岡県および岐阜県における災害薬事コーディネーターの設置について
岐阜薬科大学実践社会薬学研究室／岐阜薬科大学地域医療薬学寄附講座 林 秀樹
- WS10-4 大規模地震時医療活動訓練で実施した区役所災害対策本部での薬剤師の役割
一般社団法人住吉区薬剤師会 栗生 正也

15:10～16:10

ワークショップ11 「災害医療ロジスティクスの更なる強化について」

座長 中田 敬司（神戸学院大学現代社会学部社会防災学科）

藤原 弘之（岩手医科大学医学部救急・災害・総合医学講座災害医学分野）

- WS11-1 日本集団災害医学会 災害医療ロジスティクス認定制度について
日本集団災害医学会災害医療ロジスティクス検討委員会
（神戸学院大学現代社会学部） 中田 敬司
- WS11-2 日本DMATにおけるロジスティクス研修について
国立病院機構災害医療センター 市原 正行
- WS11-3 日本災害医療ロジスティクス研修―派遣型実践的研修の有効性―
岩手医科大学医学部救急・災害・総合医学講座災害医学分野 藤原 弘之
- WS11-4 近畿地方災害医療ロジスティクス研修会から見た人材育成のあり方
神戸赤十字病院／近畿地方災害医療ロジスティクス検討会 中田 正明
- WS11-5 大規模災害時における医療・救護活動等の非常用通信システムの適正な利用
総務省国際戦略局宇宙通信政策課 翁長 久

3日目 2月3日(土)
第5会場(5階 511+512)

9:00~10:00

一般演題 口演15 「事例報告・対策(自然災害など)」

座長 切田 学(加古川中央市民病院救急科)

久野 将宗(日本医科大学多摩永山病院救命救急センター)

- 015-1 熊本地震における民間医療機関レベルの受援及び支援体制について
その後を振り返って思うこと

医療法人健康会霧島記念病院災害医学科 坂元 健一

- 015-2 熊本地震における病院救急救命士の後方支援活動について

社会医療法人緑泉会米盛病院 松門 拓茉

- 015-3 九州北部豪雨における被災地災害拠点病院支援

飯塚病院DMAT 鮎川 勝彦

- 015-4 御嶽山噴火災害における、災害拠点病院の対応

信州大学医学部救急集中治療医学教室 高山 浩史

- 015-5 山間地域の住民における地区別の災害への備えの実態

筑波メディカルセンター病院看護部 内田 里実

- 015-6 徳島自動車道交通事故における多数傷病者事例

徳島県立中央病院救急科 佐尾山裕生

- 015-7 高速道バス事故へのドクターカー出動

徳島赤十字病院救急部 福田 靖

10:00~11:00

ワークショップ6 「小児周産期領域における災害対策」

座長 六車 崇(横浜市医療局, 横浜市立大学)

川原千香子(愛知医科大学医学部シミュレーションセンター, 医学教育センター)

- WS6-1 広域搬送における周産期関連患者の優先順位

済生会千里病院千里救命救急センター 山下 公子

- WS6-2 大規模震災発生時における周産期母子医療センターの業務継続計画(BCP)作成の課題

北里大学医学部産婦人科学産科学 服部 響子

- WS6-3 大規模災害における重症小児傷病者対応の課題と対策

日本臨床救急医学会小児救急委員会／

災害医療リスクリソースに係る研究会(RRR研究会)／

横浜市立大学医学部救急医学教室 問田 千晶

- WS6-4 災害時小児周産期リエゾンは積極的に災害訓練に参加する必要がある

あいち小児保健医療総合センター集中治療科 今井 一徳

11:00~12:00

ワークショップ7 「支援者支援の課題」

座長 森 晃爾(産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学研究室)

小平 博(川西バリティス病院救急総合診療科)

- WS7-1 災害産業保健の現状と展望—福島第一原発事故の教訓を踏まえて—

産業医科大学医学部公衆衛生学 久保 達彦

- WS7-2 災害時の自治体における保健医療支援のマネジメントの重要性

川崎市立看護短期大学 坂元 昇

- WS7-3 災害時の支援者支援の仕組みの一考
(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター 高田 洋介
- WS7-4 支援者支援の課題—マニュアル作成に向けて—
日本赤十字社医療センター国内・国際医療救援部 丸山 嘉一

12:10~13:10

ランチョンセミナー9 「事態対処における止血帯の重要性」

杏林大学医学部救急医学講座 山口 芳裕
座長 浅利 靖 (北里大学病院救命救急・災害医療センター)

14:10~15:10

一般演題 口演16 「傷病管理」

- 座長 武田 聡 (東京慈恵医科大学救急医学講座)
豊田 泉 (岐阜県総合医療センター救命救急センター救急科)
- O16-1 2017年夏ベトナム・デング熱アウトブレイクの
感染症スクリーニングシステムを用いたスクリーニング報告
首都大学東京システムデザイン研究科 小山 貴大
- O16-2 北海道マラソン2017における運動誘発性熱中症の症状に関する分析
札幌医科大学医学部救急医学講座/
札幌医科大学北海道病院前・航空・災害医学講座/
北海道救急医学会北海道マラソン準備委員会 沢本 圭悟
- O16-3 災害拠点病院と透析施設をつなぐ情報共有ツールの活用
一大規模災害訓練を経験して—
地方独立行政法人りんくう総合医療センター臨床工学科 奥田 重之
- O16-4 砂ろ過浄化装置を用いた地震後混濁井水の透析使用経験
熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部 金子 唯
- O16-5 熊本地震後慢性硬膜下血腫は2倍に増加した！
済生会熊本病院脳卒中センター脳神経外科 山城 重雄
- O16-6 熊本地震における日赤こころのケアコーディネート班の活動の効果と課題
日本赤十字社事業局救護・福祉部 山本 孝幸
- O16-7 Value of Rehabilitation Evaluation in Patients of Lushan Earthquake
- a Pilot Study using MBI and ICF based Tool
Center of Rehabilitation Medicine, West China Hospital, Sichuan University Liu Sijia
- O16-8 東日本大震災後の就労状況と不眠に関する縦断的变化
みやぎ心のケアセンター／東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野 片柳 光昭

15:10~16:10

一般演題 口演17 「災害医学」

- 座長 横堀 将司 (日本医科大学高度救命救急センター)
笠岡 俊志 (熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部)
- O17-1 「火山噴火救命具」—多様な災害に対応して人命を守る技術—
長岡市小国診療所 福本 一朗
- O17-2 身元特定を可能にする歯からの年齢推定
神奈川歯科大学大学院歯学研究科災害医療歯科学分野/
神奈川歯科大学大学院歯学研究科横須賀・湘南地域災害医療歯科研究センター 山田 良広
- O17-3 医療従事者との共働を目指した非接触・感染症スクリーニングロボットの開発
首都大学東京大学院システムデザイン研究科 浅野 稜平

- O17-4 Evaluation System of Hospital Response Capability
in Mass Casualty Incidence using Delphi method
Emergency Department of West China Hospital, Sichuan University Cao Yu
- O17-5 院内調製解毒剤の物理化学的性質についての検討
札幌医科大学附属病院薬剤部／札幌医科大学附属病院高度救命救急センター／
札幌医科大学北海道病院前・航空・災害医学講座 稲村 広敏
- O17-6 災害歯科医療関連資料の検索データベース構築を目指した
災害歯科医療論文検索サイト現況報告
神奈川歯科大学大学院歯学研究科横須賀・湘南地域災害医療歯科学研究センター 李 昌一
- O17-7 災害時要配慮者のスクリーニングツールの開発
(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター 高田 洋介
- O17-8 避難所における唾液を用いた災害関連死疾患のリスク評価法開発のための基礎的研究
神奈川歯科大学大学院歯学研究科横須賀・湘南地域災害医療歯科学研究センター 李 昌一

3日目 2月3日(土)
第6会場(2階 211+212)

9:00~10:00

一般演題 口演18 「受援・病院避難など」

座長 定光 大海(国立病院機構大阪医療センター救命救急センター)
玉井 文洋(大分三愛メディカルセンター救急医療部)

- | | | |
|-------|--|---|
| 018-1 | 熊本地震における基幹災害拠点病院の受援計画 | 熊本赤十字病院救急科 奥本 克己 |
| 018-2 | 二次医療圏内の基幹病院と地域医師会による地域防災計画の再構築 | JA愛知厚生連安城更生病院救急科 田渕 昭彦 |
| 018-3 | 自主登院基準カードの配布が災害時の在院職員数に与える効果 | 兵庫県災害医療センター救急部 菊田 正太 |
| 018-4 | 建築物の安全性評価について—迅速な応急危険度判定士の派遣と受援体制の確立— | 大阪急性期・総合医療センター 西 健太 |
| 018-5 | 建物被害のない病院ライフライン復旧状況と被搬送患者転帰からみた病院避難判断基準の検討 | 岩手県立大船渡病院救命救急センター 山野目辰味 |
| 018-6 | 新病棟への移転に伴う多数の重症患者の搬送経験:病院避難を想定して | 日本医科大学付属病院救命救急科/日本医科大学付属病院高度救命救急センター 萩原 純 |
| 018-7 | 病院避難の概念整理と連携機関を含めた実施手順の提示 | 藤沢市民病院救命救急センター 阿南 英明 |

10:00~11:00

一般演題 口演19 「BCP・ロジスティクス」

座長 林 宗博(日本赤十字社医療センター救命救急センター)
高桑 大介(日本赤十字社東京都支部)

- | | | |
|-------|---|---|
| 019-1 | 徳島県内の災害拠点病院におけるBCPへの取り組みの現状と今後の課題 | 徳島大学環境防災研究センター 湯浅 恭史 |
| 019-2 | DMATロジスティクス活動と病院BCP | 独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 楠 孝司 |
| 019-3 | 超急性期から亜急性期における災害医療ロジスティクスの役割について | 社会医療法人陽明会小波瀬病院/
九州・沖縄災害医療ロジスティクス検討委員会 安部 亮 |
| 019-4 | 災害時における宇宙航空研究開発機構(JAXA)との連携による
高速衛星通信確保および通信機器輸送手段確保について | 独立行政法人国立病院機構災害医療センター 向井 亮裕 |
| 019-5 | 福島DMAT衛星電話通信訓練の実施 | 日本赤十字社福島県支部 久保 芳宏 |
| 019-6 | 兵庫県における災害時のDMATと兵庫県トラック協会との資機材実送訓練と評価 | 兵庫県立西宮病院救命救急センター 仁枝 淳 |
| 019-7 | 災害時における医療用酸素の運用 | 長野赤十字病院 星 研一 |
| 019-8 | 国際標準緊急対応医療キット(IEHK)改訂とメディカル・ロジスティクスの課題 | 日本赤十字社医療センター薬剤部・国際医療救援部 小林 映子 |

11:00~12:00

一般演題 口演20 「国際支援」

座長 山下 公子（済生会千里病院救命救急センター）

金澤 豊（長濱赤十字病院救命救急センター）

O20-1 メキシコ地震に対する国際緊急援助隊・救助チーム医療班の活動
—救助現場に医療チームがいる意義—

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 阪本 太吾

O20-2 バングラデシュ南部避難民医療支援初動班の活動

大阪赤十字病院国際医療救援部 喜田たろう

O20-3 WHOによる緊急医療チームの分類と質の保証：予備審査を受審して

認定NPO法人災害人道医療支援会（HuMA）／兵庫県災害医療センター 甲斐聡一郎

O20-4 WHO Emergency Medical Team Minimum Data Setの項目とその意義

日本医科大学付属病院高度救命救急センター 五十嵐 豊

O20-5 災害時のサーベイランスの国際標準化と日比協力：
SPEED, J-SPEED, そしてiSPEED

社会医療法人緑泉会米盛病院 富岡 譲二

O20-6 バングラデシュ避難民救援における給水・衛生活動の経験

名古屋第二赤十字病院国際医療救援部 新居 優貴

O20-7 ヨルダンにおける地域住民参加型保健事業を通してのシリア難民と
ホストコミュニティの社会的結束の促進

大阪赤十字病院国際医療救援部 鄭 恵梨

O20-8 2017年国際搜索救助諮問グループ（INSARAG）アジア太平洋地域演習で経験した
EMTCC（Emergency Medical Team Coordination Cell）の活動

労働者健康安全機構横浜労災病院救命救急センター救急災害医療部 中森 知毅

14:00~16:30

日本集団災害医学会 学生部会 「第5回全国学生フォーラム」

3日目 2月3日(土)
ポスター会場(3階 315)

14:10~14:46

ポスター40 「病院避難・受援」

座長 眞瀬 智彦(岩手医科大学救急・災害・総合医学講座災害医学分野)
安藤 雅樹(名古屋市立東部医療センター救急科)

- P3-40-1 当院における病院避難を想定した患者搬送方法の検討
金沢市立病院 柏屋総一郎
- P3-40-2 原子力災害時の入院患者避難の問題点
市立八幡浜総合病院麻酔科・救急部 越智 元郎
- P3-40-3 介護療養型医療施設閉鎖に伴う多数担送患者の単日移送・転入経験
医療法人横浜平成会平成横浜病院総合診療科・血管外科 許 吉起
- P3-40-4 当院集中治療室の surge capacity ;
漏水により患者の緊急避難を要した事例について
横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター／
横浜市立大学医学部救急医学教室 酒井 拓磨
- P3-40-5 大規模地震時医療活動訓練における籠城訓練の経験
多根総合病院救急科 柳 英雄
- P3-40-6 大分県における広域受援計画とその問題点~2017九州北部豪雨災害を経験して
大分県立病院救命救急センター／大分県広域防災拠点構想会議委員 山本 明彦

14:46~15:16

ポスター41 「教育・訓練16」

座長 小林 修一(豊田厚生病院救命救急センター)

- P3-41-1 当院における新たな災害訓練の取り組み
—通常診療から災害モードへの移行と病院避難の検証—
済生会滋賀県病院 野澤 正寛
- P3-41-2 地域一帯停電を想定したシミュレーション型院内訓練の成果
総合大雄会病院薬剤部 柴田 隼人
- P3-41-3 浸水被害を想定した低層階病棟での避難訓練について
豊橋市民病院看護局南病棟 見城 真
- P3-41-4 統合新設病院(600床)での災害訓練への取り組み—病棟火災訓練を行なって—
加古川中央市民病院 大庭由希子
- P3-41-5 大規模地震時医療活動訓練における,
支援DMATによる赤エリアでの受援経験からみた今後の課題
松阪市民病院看護部 中西有紀子

14:10~14:40

ポスター42 「情報伝達3」

座長 武山 佳洋(市立函館病院救命救急センター)
鈴木 紗知(松阪市民病院)

- P3-42-1 DMATが使用する情報共有ツールの現状とその有用性
札幌医科大学北海道病院前・航空・災害医学講座／
札幌医科大学附属病院集中治療部看護室 春名 純平

- P3-42-2 5年間の病院被災状況EMIS入力研修の成果と課題
青森県立中央病院救急部 小笠原 賢
- P3-42-3 九州北部豪雨災害におけるEMIS運用について
社会医療法人陽明会小波瀬病院災害医療対策室 馬渡 博志
- P3-42-4 災害時におけるLINEの活用方法
宝塚市立病院DMAT 石津 智司
- P3-42-5 災害医療における情報共有ツールとしてのGoogleサービスの利用
—発災時の多数傷病者受入手段の試み—
医療法人辰星会栞記念病院オーダリングシステム開発室 三浦 有樹

14:40~15:16

ポスター43 「情報伝達4」

座長 岩下 具美（長野赤十字病院救命救急センター）
佐藤めぐみ（福島県立医科大学附属病院手術部）

- P3-43-1 多数傷病者対応における電子トリアージシステムを用いた
傷病者の情報共有に係る検討
日本医科大学千葉北総病院庶務課・災害対策室 山内 延貴
- P3-43-2 トリアージのIT貢献
蘇西厚生会社会医療法人松波総合病院 平澤 孝幸
- P3-43-3 災害時にも電子カルテを有効に使うための1試案
—災害患者IDの事前登録と訓練での試用—
名古屋市立西部医療センター麻酔科集中治療部 笹野 信子
- P3-43-4 ICTを用いた救護所内での活動
福岡市消防局警防部救急課 納富 一則
- P3-43-5 災害時における自動翻訳システムを用いた外国人被災者との
円滑なコミュニケーションの可能性について
福島県立医科大学附属病院災害医療部 中島 成隆
- P3-43-6 多機関が利用可能な簡易的デジタルトリアージシステム開発の現状
東京女子体育大学運動医学 山田浩二郎

14:10~14:40

ポスター44 「BCP」

座長 河口 豊（滋慶医療科学大学院大学医療管理学研究科）

- P3-44-1 中小病院における事業継続計画（BCP）について実動訓練を通じて考える
医療法人臼井会田野病院 斉藤 忠男
- P3-44-2 BCP（事業継続計画：business continuity plan）に基づく
全職員対象の災害時登院可能状況調査
国立病院機構三重中央医療センター 鬼頭 大輔
- P3-44-3 発災時における看護業務継続の阻害要因の検討
恩賜財団済生会横浜市東部病院 小原 澄子
- P3-44-4 水害を想定した総合防災訓練によるBCPの妥当性の検証—都立墨東病院の場合—
東京都立墨東病院 北村友喜宏
- P3-44-5 災害用備蓄薬品の保管・管理における当院の対策
大崎市民病院 尾形 知美

14:40～15:10

ポスター45 「ロジスティクス」

座長 廣田幸次郎（市立砺波総合病院）

楠 孝司（独立行政法人国立病院機構渋川医療センター）

P3-45-1 フィールドホスピタル運営のためのロジスティクス

大阪赤十字病院国際医療救援部国内救援課 河合 謙佑

P3-45-2 地域における災害医療ロジスティクス基盤構築の重要性 Part2

三重県厚生連鈴鹿中央総合病院 向井 慎治

P3-45-3 内閣府主導大規模災害時医療活動訓練（三重県）における

ロジスティクス項目の検証結果と課題

三重大学医学部附属病院臨床工学部 行光 昌宏

P3-45-4 兵庫県における災害医療ロジスティクス組織の設置について

神戸赤十字病院 中田 正明

P3-45-5 災害対策本部活動の充実強化を目指したロジスティクス養成研修

長崎大学病院救命救急センター／長崎大学病院災害医療支援室（準備室） 山下 和範

14:10～14:40

ポスター46 「傷病管理3」

座長 新井 隆成（恵寿総合病院家族みんなの医療センター）

P3-46-1 高知県における小児周産期災害医療対策

高知県高知市経営企業団立高知医療センター 渡邊 理史

P3-46-2 熊本地震後の母子の状況とケアニーズについて

神戸大学大学院保健学研究科 岩崎 三佳

P3-46-3 医療従事者が行う災害現場の妊産婦のトリアージ

山梨赤十字病院産婦人科 渡邊 直子

P3-46-4 在宅で医療的ケアを受けている患者の災害時における準備の調査

JCHO九州病院小児科 米田 哲

P3-46-5 在宅人工呼吸器装着患者の災害時支援について

大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室 富岡 正雄

14:40～15:10

ポスター47 「災害拠点病院」

座長 畑 倫明（米盛病院外科島根大学医学部附属病院救急部）

佐々木秀章（沖縄赤十字病院救急部）

P3-47-1 災害拠点病院における災害対策・対応比較検討

国土舘大学大学院救急システム研究科 上尾 善隆

P3-47-2 災害拠点病院の機能を補完するための協定締結について

医療法人神徳会三田尻病院 藤倉 岳司

P3-47-3 当院の災害マニュアル見直しの取り組み

健和会大手町病院外科 古城 都

P3-47-4 当院における災害拠点病院指定要件の自家発電機、受水槽等に関する検証

社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院臨床工学科 野原 剛

P3-47-5 東北医科薬科大学病院の災害対応体制の再整備

東北医科薬科大学医学部救急・災害医療学教室 佐藤 大

14:10~14:40

ポスター48 「災害医学」

座長 増野 智彦（日本医科大学高度救命救急センター）

P3-48-1 点滴架台が確保困難時の維持輸液方法の提案

東京都立広尾病院救急診療科 城川 雅光

P3-48-2 災害時、中央配管使用不可の際に用いるポータブル吸引装置の開発

アルバック機工株式会社 橋本 泰弘

P3-48-3 津波に遭遇した時におけるライフジャケットの気道確保能力

宮崎大学医学部附属病院救命救急センター 今井 光一

P3-48-4 総務省「IoT/BD/AI情報通信プラットフォーム」社会実装推進事業における
J-SPEED情報の利活用

産業医科大学医学部公衆衛生学講座 久保 達彦

P3-48-5 人工知能による医療支援チームの派遣調整アルゴリズムの開発と実証

東京工業大学情報理工学院情報工学系 岩崎 大貴

14:40~15:04

ポスター49 「事例報告・対策5」

座長 服部 潤（北里大学医学部救命救急医学）

P3-49-1 平成29年7月九州北部豪雨災害における被災地域の災害拠点病院としての活動報告

朝倉医師会病院総務課 田中慎太郎

P3-49-2 平成29年九州北部豪雨災害における当院での本部活動

健和会大手町病院 中橋 厚子

P3-49-3 九州北部豪雨災害におけるDMAT活動に参加して

JCHO九州病院救急総合診療科 出雲 明彦

P3-49-4 J-SPEED レポートニングフォーム（J-SPEEDr）の活用と医薬品の関連性

健和会大手町病院薬剤部 後藤 聖史

14:10~14:46

ポスター50 「事例報告・対策6」

座長 江川 新一（東北大学災害科学国際研究所災害医療国際協力学）

武川 礼子（埼玉医科大学総合医療センター）

P3-50-1 石川DMAT局地災害対応研修（土砂災害編）の報告

金沢市立病院 森川 精二

P3-50-2 診療制限を要したゲリラ豪雨による浸水被害報告

名古屋市立東部医療センター 長崎 高也

P3-50-3 市立敦賀病院における水害対応（第2報）

市立敦賀病院 山崎 巖

P3-50-4 ドクターヘリによる熱中症35名の対応

岩手医科大学医学部救急・災害・総合医学講座救急医学分野 山田 裕彦

P3-50-5 東日本大震災における当院の被災地支援を振り返って
—自治体立中規模病院としての支援の在り方を考える—

諏訪中央病院 吉澤 徹

P3-50-6 災害後中長期以降における生活不活発病対策のための多職種連携

石巻赤十字病院呼吸器外科 植田 信策

14:46~15:04

ポスター51 「事例報告・対策7」

座長 関 啓輔（大樹会総合病院回生病院救急センター）
奥本 克己（熊本赤十字病院救急科）

- P3-51-1 有珠山噴火における災害医療体制
札幌医科大学医学部救急医学講座高度救命救急センター 成松 英智
- P3-51-2 演題取り下げ
- P3-51-3 富士山噴火では降灰エリア2500万人の健康管理と医療機関の事業継続が必要である
山梨県立中央病院救命救急センター総合診療感染症センター 井上 潤一
- P3-51-4 雪山遭難軽症者への局地災害的対応
つるぎ町立半田病院内科 河野 誠也

14:10~14:40

ポスター52 「事例報告・対策8」

座長 加納 秀記（愛知医科大学病院救急診療部救命救急科）
白倉 透規（医療法人立川メディカルセンター立川総合病院循環器内科）

- P3-52-1 宮城県医師会JMATの熊本地震における活動報告
医療法人本多友愛会仙南病院 本多 正久
- P3-52-2 熊本地震における赤十字医療救護班に対する後方支援活動
松山赤十字病院 向田 圭子
- P3-52-3 平成28年熊本地震における支援活動報告 看護職による1年間の活動から
兵庫県立大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻 稲垣真梨奈
- P3-52-4 熊本地震において3施設合同DMATチームとして活動した経験
島根県立中央病院救命救急科 森 浩一
- P3-52-5 熊本地震における動く重症心身障がい児者の転院受け入れの実際と課題
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター 吉岡美智子

14:40~15:16

ポスター53 「国際支援1」

座長 武田 多一（三重大学医学部附属病院救急科）
吉岡 留美（人間総合科学大学保健医療学部看護学科）

- P3-53-1 国際人道支援におけるセキュリティー教育
三重大学医学部附属病院災害医療センター／
三重大学地域圏防災減災研究センター災害医療部門 武田 多一
- P3-53-2 Lao PDRの救急隊に対する安全靴の寄付の経験から
認定特定非営利活動法人災害人道医療支援会／
大阪府済生会千里病院千里救命救急センター 高萩 基仁
- P3-53-3 A国難民キャンプにおける母子保健活動
高知赤十字病院 丁野 美智
- P3-53-4 パレスチナ難民医療支援事業：概要紹介
大阪赤十字病院国際医療救援部 中出 雅治
- P3-53-5 難民への医療支援：自然災害との対比
大阪赤十字病院国際医療救援部 矢野佐知子
- P3-53-6 緊急医療チームの国際的な日報様式の実用性の検証
大阪府済生会千里病院千里救命救急センター 夏川 知輝

14:10~14:46

ポスター54 「国際支援2」

座長 森 浩介（横浜市立大学附属市民総合医療センター高度救命救急センター）

藤田 基生（東北大学病院高度救命救急センター）

- P3-54-1 赤十字国際委員会 イラク紛争犠牲者救援事業を通して感じた
中東における戦傷外科の要諦
大阪赤十字病院国際医療救援部 渡瀬淳一郎
- P3-54-2 ギリシャ北部における中東地域紛争犠牲者救援事業に参加して
大阪赤十字病院救急科 山田 圭吾
- P3-54-3 2015年ネパール大震災被災者へのソーシャル・サポートと
心の健康に関する実証研究
国立精神神経医療研究センター精神保健研究所自殺総合対策推進センター／
帝京大学大学院公衆衛生学研究科／中央大学 崎坂香屋子
- P3-54-4 バングラデシュ南部避難民医療支援：メディカルロジスティクス
大阪赤十字病院国際医療救援部 雪本江里子
- P3-54-5 The WHO EMT Minimum Data Setの本質
産業医科大学医学部公衆衛生学／国際緊急援助隊医療チームMDS 普及対応班 久保 達彦
- P3-54-6 バングラデシュ南部避難民救援 初動ロジスティクス
大阪赤十字病院国際医療救援部国内救援課 河合 謙佑

14:46~15:16

ポスター55 「教育・訓練17」

座長 山下 和範（長崎大学病院救命救急センター）

恩部 陽弥（鳥取大学医学部附属病院救命救急センター）

- P3-55-1 集中治療室における災害アクションカードの改訂
健和会大手町病院 杉浦 敦史
- P3-55-2 ワークショップによる、災害時アクションカードの作成
大津赤十字病院高度救命救急センター 竹市 康裕
- P3-55-3 コメディカル部門のアクションカードの作成・運用を支援して見えたもの
医療法人社団東光会西東京中央総合病院 伊藤 遼
- P3-55-4 効率的な派遣準備を目指して
公立松任石川中央病院 唐木 崇成
- P3-55-5 火災発生時アクションカードの作成と静的シミュレーションの試み
自衛隊札幌病院看護部 中原 麻里

14:10~14:40

ポスター56 「教育・訓練18」

座長 峯田 雅寛（山形県立中央病院救命救急センター）

寺澤ゆかり（大阪府済生会千里病院千里救命救急センター総務課兼治験・臨床試験管理室）

- P3-56-1 中国ブロックDMAT実働訓練について岡山DMAT業務調整員の取り組み
国立病院機構岡山医療センター 明星 正人
- P3-56-2 千葉県DMATロジスティック会による県内災害拠点病院における
災害対策訓練評価の取り組み
東京慈恵会医科大学附属柏病院 小原 裕樹
- P3-56-3 岡山県におけるDMAT・DPAT・行政合同ロジスティクス研修の
「継続的な取り組み」と「新たな取り組み」
岡山県精神科医療センター 小坂 靖和

- P3-56-4 大規模災害時における血液製剤受注体制構築の試み
神戸赤十字病院検査部 安部 史生
- P3-56-5 BLS・モニター研修受講前後での理解度・技能についての検討
つるぎ町立半田病院 岡 由美

14:40~15:16

ポスター57 「教育・訓練19」

- 座長 嶋村 文彦（千葉県救急医療センター外傷治療科）
若狭 眞美（京都第一赤十字病院）
- P3-57-1 職員安否登録システム導入からみる当院の災害に対する意識の現状
名古屋市立東部医療センター 円福寺 薫
- P3-57-2 災害急性期における投薬希望患者に対する薬剤師対応に関する検討
地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期総合・医療センター 吉田 紗理
- P3-57-3 多数傷病者受け入れ訓練時の当院における災害医療の啓蒙の試みと今後の課題
枳記念病院 石川 敏仁
- P3-57-4 多数傷病者受け入れ訓練の拡大と今後の展望
神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター 西尾 勇次
- P3-57-5 災害訓練の経験から見えた課題—災害拠点病院3年目の職員の役割認識—
医療法人直和会平成立石病院看護部 安藤美帆子
- P3-57-6 多数傷病者対応マニュアル作成に合わせた傷病者受入れ体制の整備
公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター看護部 川北 良樹

14:10~14:46

ポスター58 「教育・訓練20」

- 座長 今井 寛（三重大学医学部附属病院救命救急総合集中治療センター）
大山 太（東海大学健康科学部看護学科）
- P3-58-1 訪問看護ステーションにおける社内SNS・E-mailを活用した
スタッフの安否確認訓練について
ケアプロ訪問看護ステーション東京 佐藤 純
- P3-58-2 起震車を活用した災害訓練の取り組み
豊橋市民病院 菊地 直幸
- P3-58-3 平成29年度大規模地震時医療活動訓練における大阪JRATの活動
大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室 富岡 正雄
- P3-58-4 市民と共に進める災害医療救護訓練プログラムの実装
産業技術総合研究所人間情報研究部門 依田 育士
- P3-58-5 当大学での1泊2日の体験型地域防災訓練の経験
日本体育大学保健医療学部救急医療学科 鴻崎 国頼
- P2-58-6 院内本部机上訓練を通して明らかとなった課題
宝塚市立病院 奥田 輔